

Soft [ソフトテニス] Tennis

8
AUGUST
2026
No.867

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 令和8年度 定時評議員会 報告



2026仁川コリアカップ国際ソフトテニストーナメント 報告

特別企画 前編

高校ソフトテニス部 指導者の実態と地域連携への入口

全日本U-14女子強化合宿 報告

全日本U-21男子強化合宿 報告

理事会・専門委員会&合宿報告



第81回 東日本ソフトテニス選手権大会

第80回 西日本ソフトテニス選手権大会

令和7年度 支部功労者優良団体紹介

Vol.6 神奈川県 vol.7 福岡県

Soft 8 AUGUST 2026 No.867

[ソフトテニス]

Tennis

【表紙写真】

6月中旬に開催された「令和8年度
定時評議員会」の様子

C O N T E N T S

- 1 令和8年度 定時評議員会 報告
- 7 令和8年度 定時評議員会用資料
- 15 **特別企画** **前編**
高校ソフトテニス部 指導者の実態と地域連携への入口
- 19 2026仁川コリアカップ
国際ソフトテニストーナメント 報告
- 25 全日本U-14女子強化合宿 報告
- 27 全日本U-21男子強化合宿 報告
- 30 第80回 西日本ソフトテニス選手権大会
第81回 東日本ソフトテニス選手権大会
- 32 令和7年度 支部功労者優良団体紹介
Vol.6 神奈川県、vol.7 福岡県
- 37 支部ニュース
- 39 理事会・専門委員会&合宿報告
- 40 Soft Tennis Information 情報コーナー
- 43 次号予告
- 44 2026年度（令和8年度）大会日程及び開催地一覧

令和8年度

定時評議員会 報告



- 【Ⅰ】日 時 令和8年6月21日(日) 13時 開始
- 【Ⅱ】会 場 オンラインおよび Japan Sport Olympic Square 会議室「岸清一メモリアルルーム3」
参集会場：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
- 【Ⅲ】出席者 評議員：48名〔オンライン：3名〕〔欠席：2名〕
理 事：18名〔オンライン：3名〕〔欠席：4名〕
監 事：3名〔オンライン：1名〕

【Ⅳ】次第

1 開会

定款第23条第1項および第2項により、評議員の定数50名に対し出席者48名で定足数に達しており、評議員会が成立するとの報告があった。

2 あいさつ

安道光二会長より、本日は令和7年度事業報告およ

び決算報告という重要議題であること、また、今回は役員改選を迎え、定時評議員会終了後には新役員を発表することから、引き続きの支援と協力をお願いしたいとの挨拶があった。

3 議長選出

定款第20条第2項により、出席した評議員の中から互選により議長は選任されるとの説明があった。出席者に推薦を求めたところ、栃木県の木所一典評議員よ

り千葉県鈴木敏行評議員の推薦があり、満場一致で議長に選任された。

4 議事録署名人の指名

定款第24条第2項により、議事録署名人に宮崎県の當瀬純一評議員と額賀富雄理事が指名された。

5 議決事項

第1号議案 令和7年度事業報告書(案)について

I 普及振興事業

- ・天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会は東京都・有明で継続して開催した。開催地固定化については引き続き検討する。
- ・各種資格制度については、技術等級認定料は令和8年度から改定、審判員認定料についても改定を検討している。国際審判員養成のための研修会を実施する。
- ・ラケットの公認マークを廃止することとした。令和8年度の新製品からが対象となる。これに伴い試合開始前のトスはコイン方式へ移行する。
- ・テニスパーク棚倉については、売却を視野に入れているが、翌年度に継続検討とする。
- ・100周年記念事業では、記念式典において、MVVおよび「中期財務方針」の公表を行えたことは大きな成果であった。

II 競技力向上事業

1. 競技力向上事業の推進

世界をリードできる競技力の向上と、高い倫理観を持った選手育成を最重要視して事業を推進した。アジア競技大会に向けてさらに徹底を図る。

2. 指導者育成

スタートコーチおよびコーチ1養成講習会を開催した。強化チームスタッフに対して倫理・コンプライアンス研修を行った。

III 国際振興事業

2028年の第10回アジア選手権大会を日本で開催することが決定した。また、アジア競技大会参加国の拡大のための活動を行い、オリンピック参入への取組として、ARISF加盟について調査を実施することとした。

IV 各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策

・会員登録制度の推進

令和7年度は会員登録料の一部を改定し、新たな会員登録システムへの移行を実施した。

・事務局の移転について

事務局をJAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREへ移転した。

【第1号議案質疑応答】

議長より第一号議案の質疑等を促されたが、特に発言はなかった。

【第1号議案の承認】

議長により諮られ、賛成多数により第1号議案は承認された。

第2号議案 令和7年度決算報告書(案)について

一般会計収入

会員登録料は、登録料改定により前年度より増収となった。

公認審判員認定料やハンドブック販売が見込みを上回ったほか、雑収入においては補正後予算では見込みなかったものの、会計処理上の整理により計上科目の変更を行ったことにより増となった。

一般会計支出

会員登録関係費は、日本連盟が負担している会

費納入時の手数料と管理会社への委託管理費となり、合計で約3,300万円となった。前年度比で約2,700万円の経費削減となり、システム変更によるコスト削減効果が得られた。

100周年記念事業は式典開催の関係費用として約1,100万円となった。

事務局移転関係費については、移転に伴う費用および入居保証金、什器備品購入等による。

助成事業特別会計

補助金・委託金、協賛金等は事業実績に応じて増減があった。

全日本選手権大会は実行委員会を発足し、日本連盟が収支管理を行い、プログラム販売やチケット収入を計上した。

競技力向上事業では海外遠征費や合宿費に増減があったものの、全体としては予算内で執行した。

国際特別会計

概ね予算どおり執行したが、加盟費についてはIFやAFへの為替レートの影響により見込みを上回った。

決算報告書

貸借対照表の固定資産には、基本財産、特定資産、その他固定資産を表している。新たにJSOS入居に伴う差入保証金をその他固定資産に計上した。負債の部では、未払消費税を未払金から区分して表示した。

正味財産増減計算書は経常収益・経常費用を公益目的事業と法人管理に区分して整理した。

経常収益は、前年より大幅な増となっているが、会員登録料を改定したこと、全日本選手権大会のチケット収入を日本連盟にて扱うことにしたため、その分が増となった。補助金等収入は、各対象事業での増額、新たな補助金を得たことによる。雑収入は、100周年記念式典の会費の他、補正予算

編成時には見込めなかったもの、計上科目の変更により増となっている。

正味財産増減計算書内訳表

会員登録料は50%以下を法人に使用することができるため、公益事業と法人会計に分けて計上している。令和7年度は記念式典の会費を法人会計の収入として計上した。

令和7年度決算において、財産目録に記載されている各口座残高や計上額は、残高証明書および計算根拠資料等を会計士が確認している。

日常の処理についても常に会計士と相談できる状況にあり、必要に応じて指導を仰いでいる。監査の結果、整合性がとれており、全て正しく処理されているとして監査報告書をいただいた。

監査報告

令和7年度の会計帳簿および関係書類について監査を実施した。

その結果、会計処理は適正かつ正確に行われており、収入および支出は関係書類と照合して整合しており、不正や重大な誤謬は無く、財務状況は適正に表示されているものと認める。この提出された決算報告書案は、当該年度の会計の実施状況を適正に表示しているものと認める。

【第2号議案質疑応答】

議長より第2号議案の質疑等を促されたが、質問等はなかった。

【第2号議案の承認】

議長により諮られ、賛成多数により第2号議案は承認された。

第3号議案 評議員の選任について

評議員の変更について申し出があったため、議長より1名ずつ諮ることとした。

【第3号議案の承認】

議長により1名ずつ読み上げられた評議員候補者5名について諮られ、評議員の変更について、質疑等もなく、全ての候補者が賛成多数により承認された。

第4号議案 理事・監事の選任について

役員候補者の選出に関して、漆畑勝之役員選考委員より、選考委員会の結果が発表された。

定款第29条により、本連盟の理事および監事の全員が本定時評議員会の終結時をもって任期満了により退任となり、新たに理事および監事を選任することとなる。

去る6月15日に開催した第2回役員候補者選考委員会において審議し候補者として決定した会長推薦理事13名、地区等選出理事10名、監事3名について報告された。

【第4号議案質疑応答】

議長より質疑等を促された。評議員より、候補者の略歴等の説明を求められ、運上琢諭理事（役員候補者選考委員会委員）より、新たに推薦された理事候補者および幹事候補者について、推薦理由、略歴等について説明があった。

【第4号議案の承認】

議長より第4号議案について1名ずつ諮られた。

(1) 会長推薦理事 13名

全員、議長より諮られ、賛成多数で承認された。

(2) 地区等選出理事 10名

全員、議長より諮られ、賛成多数で承認された。

(3) 監事3名

全員、議長より諮られ、賛成多数で承認された。

(公財) 日本ソフトテニス連盟 理事・監事

令和8年6月21日

	役 職	氏 名
1	会 長	加 藤 勝 信
2	副 会 長	内 浪 博 文
3	副 会 長	大 島 洋 子
4	副 会 長	清 水 諭
5	専 務 理 事	中 田 裕 之
6	常 務 理 事	運 上 琢 諭
7	常 務 理 事	額 賀 富 雄
8	常 務 理 事	蛭 田 香 名 子
9	理 事	青 山 裕 子
10	理 事	井 上 直 子
11	理 事	岩 見 純 子
12	理 事	上 山 親 子
13	理 事	大 津 竜 二
14	理 事	大 前 秀 樹
15	理 事	笠 原 亜 希 子
16	理 事	菊 間 路 人
17	理 事	久 保 直 生
18	理 事	高 井 志 保
19	理 事	高 野 健 二
20	理 事	堀 越 浩
21	理 事	増 木 博 一
22	理 事	山 本 悦 子
23	理 事	横 田 南
24	監 事	久 保 村 康 史
25	監 事	内 田 裕 行
26	監 事	弘 中 基 之

〈順不同、敬称略〉

6 報告事項(業務執行状況、他)

(1) 臨時評議員会の開催について

次回の臨時評議員会を令和8年7月25日(土)午前10時よりリモート会議で開催予定。

(2) 普及計画委員会の設置と各支部における活動について(清水副会長)

少子化や学校部活動の地域展開、競技人口の減少等の課題に対応するため、登録人口問題対策委員会及び生涯スポーツ委員会を発展的に統合し、

令和8年度から「普及計画委員会」を設置する。競技機会の拡大や継続できる環境づくり、地域の指導者育成等を推進するとともに、加盟団体等と連携し普及活動を展開する。令和8年度は競技への入口づくりと登録人口減少の抑制を重点目標とし、モデル事業や体験会、指導者育成等を実施する。予算は500万円とし、加盟団体には普及担当窓口の設置及び7月末日までの報告書提出を依頼した。

(山口県連盟からの意見)

少子化や部活動の地域展開に伴い、中学校部活動が急速に縮小し、部活動の消滅や活動終了により競技継続が困難となる生徒が増えているとの報告があった。県連盟では地域クラブ設立や指導者養成、コーチ資格取得助成等の対策を進めているものの、令和7年度の登録者数は大幅に減少した。

地域クラブと認定地域クラブの役割分担や、団体連大会への参加資格など新たな課題もあり、今後は行政との連携や小学生への普及活動を進めるとともに、日本連盟としても対応を検討してほしい旨の要望があった。

(3) 公認審判員の認定料改定について(審判委員会)

公認審判員認定料を令和9年4月1日より改定することとなった。増収分は審判研修用動画の作成、全日本選手権大会等への派遣審判員の充実、VARシステム構築など、審判員の資質向上と競技運営体制の充実に充てる予定である。

(4) トス用のコインについて(審判委員会)

ラケットへの公認マーク廃止に伴い、サービスの順番を決定する方法としてコイントスを奨励しているが、日本連盟での作成・販売は未定である。その作成方法など質問や確認があれば日本連盟までお願いしたい。

(5) 使用済ラケット・ウェア等のご提供について(国際委員会)

国際委員会では、ソフトテニス未普及地域への競技普及を進め、2040年までのオリンピック正式競技採用を目標として活動を進めている。

海外ではソフトテニス用品の入手が困難なことから、使用可能なラケットやボール等の提供を呼びかけ、海外での体験会や普及活動に活用したいので協力をお願いしたい。

回収対象は平成22年以降に製造されたラケット、ラケットケース、遠征バッグ等で、ラケットはストリング・グリップとも使用可能な状態のものとする。ボールについても破損のないものを対象とし、シューズやアンダーウェア等は対象外とする。回収会場は日本連盟ホームページで案内する。

(6) 定時評議員会の開催時期について(専務理事)

定時評議員会の開催時期は6月の第3週を原則としたい。第2週には全日本ミックスダブルス選手権大会が開催されており、その翌週と考えていただきたい。暦の関係によっては定時評議員会開催が第4週となることも有り得る。各地の大会日程の調整にご配慮いただきたい。

(7) 日本連盟旧事務局の売却について(専務理事)

東京都品川区大井町の旧事務局物件について複数社での取り扱いを依頼した結果、2億9,200万円で売買契約が成立した。売却益については、日本連盟の運営資金として活用する予定であり、具体的な運用方法については会計士と協議しながら適切に進めていく。

7 支部提案・意見等

(1) - 1 日本連盟と小学生組織との状況について(秋田県連盟)

(1)－2 小学生の学年別大会の再開について（福島県連盟）

日本連盟からは、東西の小学生連盟関係者と継続して議論していることが説明された。小学生を対象とする大会については、日本連盟主催としては令和8年度的全日本小学生選手権大会は令和9年3月25日～28日、千葉県千葉市で開催、令和9年度は、令和9年9月18日～20日で調整中であること、小学生組織では令和10年3月には全国小学生大会を調整しているが日本連盟主催とすることは難しいとの説明があった。

また、小学生組織については一般社団法人として立ち上げようと関係者は計画しているが、定款の作成、予算や収支決算、事業報告などの整備、そして日本連盟の審査を受けることとなるので、日本連盟に加盟するかどうかは、数年はかかるのではないかと思うとの見解が示された。

(3) テニスパーク棚倉の維持管理について（山梨県連盟）

テニスパーク棚倉について、利用状況や維持管理費、今後の売却方針について質問があり、日本連盟からは検討内容、現在の利用状況、売却については会計士と相談しながら検討を進めているとの説明があった。

(4) 日本連盟主催大会の開催ブロック持ち回りについて（和歌山県連盟）

大会開催ブロックのローテーションや、全日本中学生クラブ選手権大会を含めた今後の開催予定について質問があった。日本連盟からは、コロナ禍における大会中止やローテーションの変更があったこと、新たな大会や開催時期変更により再調整が必要となっていること、全日本中学生クラブ選手権大会についても開催地を検討している段階

であり、この大会を含め、令和10年度以降のローテーション案を本年8月末までに各ブロックへ提示できるよう準備を進めるとの説明があった。

(5) 2028年アジア選手権大会の取り組み状況、方針について（広島県）

2028年アジア選手権大会について、開催地の立候補の状況、今後の展開について質問があった。日本連盟からは、国際委員会では多くの国からの参加者を得て、多くの観客を集められるように開催したいと考えていること、費用面を含めて今後に速やかに方向性を定めて取り組んでいくとの説明があった。開催地として立候補があったのは広島県のみであったことが報告された。

【V】 閉会

会議は終始異常なく、全ての議決事項及び報告事項が終了した。鈴木敏行議長より、円滑に会議が進行したことへの謝辞が述べられ、オンライン参加者とは意思疎通が図れる状態で終了した。

退任となる安道光二会長より、退任者を代表して挨拶があった。在任中は評議員の皆様を始め理事・監事、加盟団体、全国のソフトテニス関係者の皆様から温かいご支援とご協力を賜ったこと、皆様のお力添えがあってこそ、会長としてソフトテニスの普及発展そして連盟運営に携わることができたとして感謝の言葉を述べられた。今後は新しい体制のもとで連盟がさらに発展し、ソフトテニス界がますます飛躍されるよう心から期待し、自身も1人のファンとしてその歩みを応援していくこと、皆様のご健勝とご活躍、日本連盟のさらなる発展を祈り、改めて、これまでのご厚情に感謝するとの挨拶があった。

貸借対照表

令和8年3月31日現在
単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	43,771,123	16,576,739	27,194,384
未収金	58,323,382	37,368,156	20,955,226
前払金	1,262,250	973,632	288,618
貯蔵品	8,847,161	8,572,178	274,983
流動資産合計	112,203,916	63,490,705	48,713,211
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	48,564,000	48,564,000	0
投資有価証券	101,436,000	101,436,000	0
基本財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	32,769,742	27,722,744	5,046,998
修繕積立金	4,953,640	4,953,640	0
テニスコート修繕積立金	7,933,420	6,933,420	1,000,000
普及振興事業積立金	83,000,000	83,000,000	0
広報活動積立金	9,300,000	9,300,000	0
大会運営補助積立金	10,000,000	10,000,000	0
国際振興積立金	130,000,000	130,000,000	0
特定資産合計	277,956,802	271,909,804	6,046,998
(3) その他固定資産			
建物及び付属設備	161,406,988	181,849,224	△ 20,442,236
器具備品	6,204,797	7,381,862	△ 1,177,065
ソフトウェア	0	731,832	△ 731,832
土地	84,715,134	84,715,134	0
差入保証金	2,280,000	0	2,280,000
その他固定資産	254,606,919	274,678,052	△ 20,071,133
固定資産合計	682,563,721	696,587,856	△ 14,024,135
資産合計	794,767,637	760,078,561	34,689,076
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,659,508	6,230,093	3,429,415
前受金	1,109,500	1,430,000	△ 320,500
預り金	1,248,824	773,752	475,072
賞与引当金	3,932,596	4,217,318	△ 284,722
未払消費税等	4,063,500	2,587,900	1,475,600
流動負債合計	20,013,928	15,239,063	4,774,865
2. 固定負債			
退職給付引当金	32,769,742	27,722,744	5,046,998
固定負債合計	32,769,742	27,722,744	5,046,998
負債合計	52,783,670	42,961,807	9,821,863
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	741,983,967	717,116,754	24,867,213
(うち特定資産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(245,187,060)	(244,187,060)	(1,000,000)
正味財産合計	741,983,967	717,116,754	24,867,213
負債及び正味財産合計	794,767,637	760,078,561	34,689,076

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	678,523	613,410	65,113
会費収入	314,290,000	228,585,000	85,705,000
事業収入	156,691,590	144,941,600	11,749,990
補助金等収入	89,301,910	74,238,521	15,063,389
協賛金寄付金収入	28,208,000	24,350,000	3,858,000
雑収入	20,947,598	7,929,796	13,017,802
経常収益計	610,117,621	480,658,327	129,459,294
(2) 経常費用			
事業費	514,977,947	407,635,996	107,341,951
役員報酬	1,830,000	2,196,000	△ 366,000
給料	26,340,789	23,262,213	3,078,576
職員手当等	7,781,630	7,045,644	735,986
退職給付費用	3,243,637	1,337,071	1,906,566
福利厚生費	5,084,737	5,238,557	△ 153,820
賞与引当金繰入	2,414,069	2,572,564	△ 158,495
旅費交通費	108,884,850	88,294,567	20,590,283
通信運搬費	6,300,231	2,416,052	3,884,179
支払手数料	5,284,408	12,469,243	△ 7,184,835
減価償却費	13,604,812	14,139,098	△ 534,286
会議費	12,966,239	6,007,732	6,958,507
備品購入費	1,128,790	459,891	668,899
消耗品費	27,365,985	20,672,655	6,693,330
印刷製本費	11,498,790	12,026,795	△ 528,005
光熱水費	452,018	459,785	△ 7,767
賃借料	20,901,326	18,948,248	1,953,078
保険料	1,266,958	1,053,852	213,106
諸謝金	10,902,884	9,625,943	1,276,941
報償費	9,598,299	8,937,930	660,369
租税公課	11,429,230	4,093,459	7,335,771
支払負担金	81,072,323	62,329,232	18,743,091
リース料	666,998	0	666,998
支払助成金	79,335,159	83,961,739	△ 4,626,580
委託費	63,565,888	17,874,504	45,691,384
渉外交際費	434,914	515,375	△ 80,461
雑費	1,622,983	1,697,847	△ 74,864
管理費	70,224,300	111,907,206	△ 41,682,906
役員報酬	1,170,000	1,404,000	△ 234,000
給料	16,840,841	14,872,562	1,968,279
職員手当等	4,975,143	4,504,593	470,550
退職給付費用	2,099,461	854,848	1,244,613
福利厚生費	4,232,959	3,349,240	883,719
賞与引当金繰入	1,518,527	1,644,754	△ 126,227
旅費交通費	4,997,418	2,730,759	2,266,659
通信運搬費	782,512	2,836,233	△ 2,053,721
支払手数料	9,284,200	44,209,131	△ 34,924,931
減価償却費	8,698,160	9,039,751	△ 341,591
会議費	93,945	4,532,148	△ 4,438,203
備品購入費	0	294,028	△ 294,028
消耗品費	805,332	861,360	△ 56,028
印刷製本費	472,609	905,242	△ 432,633
光熱水費	289,000	293,959	△ 4,959
賃借料	4,571,622	0	4,571,622
保険料	739,916	370,272	369,644
諸謝金	0	0	0
報償費	778,800	0	778,800
租税公課	600	5,205,028	△ 5,204,428
支払負担金	3,500	0	3,500
リース料	426,451	0	426,451
支払助成金	0	0	0
委託費	3,688,831	13,484,274	△ 9,795,443
渉外交際費	3,710,513	63,698	3,646,815
雑費	43,960	451,326	△ 407,366
経常費用計	585,202,247	519,543,202	65,659,045
評価損益等調整前当期経常増減額	24,915,374	△ 38,884,875	63,800,249
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	24,915,374	△ 38,884,875	63,800,249
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	48,161	0	48,161
経常外費用計	48,161	0	48,161
当期経常外増減額	△ 48,161	0	△ 48,161
当期一般正味財産増減額	24,867,213	△ 38,884,875	63,752,088
一般正味財産期首残高	717,116,754	756,001,629	△ 38,884,875
一般正味財産期末残高	741,983,967	717,116,754	24,867,213
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	741,983,967	717,116,754	24,867,213

正味財産内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
単位：円

区 分	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1). 経常収益				
基本財産運用収入	678,523			678,523
会費収入	176,222,700	138,067,300		314,290,000
事業収入	156,691,590			156,691,590
補助金等収入	89,301,910			89,301,910
協賛金寄付金収入	28,208,000			28,208,000
雑収入	17,267,598	3,680,000		20,947,598
経常収益計	468,370,321	141,747,300	0	610,117,621
(2). 経常費用				
事業費	514,977,947			514,977,947
役員報酬	1,830,000			1,830,000
給料	26,340,789			26,340,789
職員手当等	7,781,630			7,781,630
退職給付費用	3,243,637			3,243,637
福利厚生費	5,084,737			5,084,737
賞与引当金繰入	2,414,069			2,414,069
旅費交通費	108,884,850			108,884,850
通信運搬費	6,300,231			6,300,231
支払手数料	5,284,408			5,284,408
減価償却費	13,604,812			13,604,812
会議費	12,966,239			12,966,239
備品購入費	1,128,790			1,128,790
消耗品費	27,365,985			27,365,985
印刷製本費	11,498,790			11,498,790
光熱水費	452,018			452,018
賃借料	20,901,326			20,901,326
保険料	1,266,958			1,266,958
諸謝金	10,902,884			10,902,884
報償費	9,598,299			9,598,299
租税公課	11,429,230			11,429,230
支払負担金	81,072,323			81,072,323
リース料	666,998			666,998
支払助成金	79,335,159			79,335,159
委託費	63,565,888			63,565,888
渉外交際費	434,914			434,914
雑費	1,622,983			1,622,983
管理費		70,224,300		70,224,300
役員報酬		1,170,000		1,170,000
給料		16,840,841		16,840,841
職員手当等		4,975,143		4,975,143
退職給付費用		2,099,461		2,099,461
福利厚生費		4,232,959		4,232,959
賞与引当金繰入		1,518,527		1,518,527
旅費交通費		4,997,418		4,997,418
通信運搬費		782,512		782,512
支払手数料		9,284,200		9,284,200
減価償却費		8,698,160		8,698,160
会議費		93,945		93,945
備品購入費		0		0
消耗品費		805,332		805,332
印刷製本費		472,609		472,609
光熱水費		289,000		289,000
賃借料		4,571,622		4,571,622
保険料		739,916		739,916
諸謝金		0		0
報償費		778,800		778,800
租税公課		600		600
支払負担金		3,500		3,500
リース料		426,451		426,451
委託費		3,688,831		3,688,831
渉外交際費		3,710,513		3,710,513
雑費		43,960		43,960
経常費用計	514,977,947	70,224,300	0	585,202,247
当期経常増減額	△ 46,607,626	71,523,000		24,915,374
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	48,161		48,161
経常費用計	0	48,161		48,161
当期経常外増減額	0	△ 48,161		△ 48,161
当期一般正味財産増減額	△ 46,607,626	71,474,839		24,867,213
一般正味財産期首残高	391,026,643	326,090,111		717,116,754
一般正味財産期末残高	344,419,017	397,564,950		741,983,967
II 指定正味財産増減の部	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
当期指定正味財産期首残高	0	0		0
当期指定正味財産期末残高	0	0		0
III 正味財産期末残高	344,419,017	397,564,950		741,983,967

技術等級認定実績

令和8年3月31日現在

加盟団体		名誉 指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
1	北海道	0	0	2	0	23	0	5	41	8	11	90
2	青 森	0	0	0	0	5	0	1	3	15	26	50
3	岩 手	0	0	0	0	9	1	6	25	6	48	95
4	宮 城	0	0	6	0	8	0	2	14	14	2	46
5	秋 田	0	0	1	0	7	1	13	14	30	0	66
6	山 形	0	0	1	0	5	0	9	6	38	71	130
7	福 島	0	0	2	0	4	1	3	19	52	19	100
8	茨 城	0	0	0	0	12	0	6	73	22	141	254
9	栃 木	0	0	0	1	5	0	10	35	33	41	125
10	群 馬	0	0	2	1	11	0	6	45	24	82	171
11	埼 玉	0	0	4	3	25	2	40	118	556	226	974
12	千 葉	0	0	0	1	9	2	4	25	16	149	206
13	東 京	0	0	0	3	13	2	18	26	20	20	102
14	神奈川	0	0	3	1	29	0	14	61	36	20	164
15	山 梨	0	0	0	0	2	0	8	18	16	38	82
16	新 潟	0	0	1	0	9	0	4	47	8	17	86
17	長 野	0	0	0	0	14	2	9	39	30	28	122
18	富 山	0	0	0	0	3	0	24	43	2	17	89
19	石 川	0	0	2	0	15	0	12	21	23	14	87
20	福 井	0	0	0	0	8	0	4	10	1	32	55
21	静 岡	0	0	0	2	16	0	38	45	7	75	183
22	愛 知	0	0	11	2	25	0	13	53	39	76	219
23	三 重	0	0	0	0	4	0	4	19	17	26	70
24	岐 阜	0	0	1	2	10	1	11	38	34	32	129
25	滋 賀	0	0	0	0	8	1	13	59	20	13	114
26	京 都	0	0	2	2	16	1	12	17	8	21	79
27	大 阪	0	0	5	0	8	2	10	71	4	25	125
28	兵 庫	0	0	3	0	7	1	16	104	19	29	179
29	奈 良	0	0	3	4	18	0	5	46	5	21	102
30	和歌山	0	0	1	0	17	0	6	22	2	68	116
31	鳥 取	0	0	0	1	4	0	7	13	5	34	64
32	島 根	0	0	0	1	12	0	4	5	7	18	47
33	岡 山	0	0	2	4	10	0	6	66	30	0	118
34	広 島	0	0	5	0	8	0	11	30	35	39	128
35	山 口	0	0	2	1	10	0	11	69	86	301	480
36	徳 島	0	0	0	0	12	0	5	10	12	0	39
37	香 川	0	0	10	0	16	0	10	10	7	12	65
38	愛 媛	0	0	0	1	9	0	7	16	22	83	138
39	高 知	0	0	3	0	9	0	0	10	0	23	45
40	福 岡	0	0	0	1	5	0	3	17	16	4	46
41	佐 賀	0	0	1	0	6	0	2	9	29	6	53
42	長 崎	0	0	1	0	3	0	3	15	23	19	64
43	熊 本	0	0	0	0	15	0	20	119	28	307	489
44	大 分	0	0	0	0	8	0	3	7	23	0	41
45	宮 崎	0	0	0	0	4	0	6	21	47	50	128
46	鹿児島	0	0	0	0	5	0	12	16	21	31	85
47	沖 縄	0	0	0	0	4	0	2	0	24	7	37
48	日本学連	0	0	30	0	29	0	23	75	4	1	162
合 計		0	0	104	31	514	17	461	1,665	1,524	2,323	6,639
前 年 度		0	2	139	19	397	18	306	1,660	1,455	1,660	5,656

公認審判員認定実績

令和8年3月31日現在

No	加盟団体	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイヤー	1 級審判員		2 級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般	高校	一般	高校		
						新規		更新	Jr 移行		
1	北海道	1	3	2	4	112	251	135	529	1,687	0
2	青 森	0	0	12	0	42	171	38	57	67	387
3	岩 手	3	0	2	0	104	99	115	417	915	1,655
4	宮 城	0	0	1	4	46	208	83	466	1,337	2,145
5	秋 田	1	0	3	1	53	19	63	194	626	960
6	山 形	0	0	2	1	70	44	45	223	657	1,042
7	福 島	2	1	2	6	85	53	52	394	1,510	2,105
8	茨 城	0	4	0	5	136	626	114	77	118	1,080
9	栃 木	0	0	1	4	97	215	53	231	1,809	2,410
10	群 馬	0	8	2	1	114	193	64	139	204	725
11	埼 玉	4	6	0	10	287	661	338	649	3,163	5,118
12	千 葉	1	3	1	2	151	653	169	365	2,502	3,847
13	東 京	0	35	0	1	199	247	173	59	87	801
14	神奈川	6	0	0	2	120	194	76	611	5,624	6,633
15	山 梨	1	6	0	4	86	185	46	35	131	494
16	新 潟	0	8	1	5	74	65	23	261	1,203	1,640
17	長 野	1	1	0	3	107	155	126	245	1,280	1,918
18	富 山	0	0	3	0	61	257	41	28	78	468
19	石 川	0	14	7	5	30	0	52	184	607	899
20	福 井	0	0	0	0	11	54	16	26	29	136
21	静 岡	4	8	1	5	194	72	133	460	2,990	3,867
22	愛 知	0	1	3	8	158	860	264	51	226	1,571
23	三 重	2	0	0	4	74	260	37	60	57	494
24	岐 阜	1	0	0	2	112	475	71	97	234	992
25	滋 賀	0	0	5	5	66	411	35	33	46	601
26	京 都	3	0	3	7	51	414	65	33	134	710
27	大 阪	1	0	3	2	122	170	167	24	40	529
28	兵 庫	1	0	6	3	345	90	127	20	303	895
29	奈 良	1	0	3	1	41	245	82	17	29	419
30	和歌山	0	0	0	2	20	11	70	20	55	178
31	鳥 取	1	0	4	3	29	35	8	48	95	223
32	島 根	0	0	3	0	21	234	20	26	45	349
33	岡 山	0	0	3	7	38	572	28	70	96	814
34	広 島	1	0	0	2	43	738	128	42	66	1,020
35	山 口	1	0	2	1	77	491	81	53	653	1,359
36	徳 島	0	0	0	0	20	124	28	30	50	252
37	香 川	0	0	1	1	20	137	38	40	54	291
38	愛 媛	4	0	0	0	52	69	38	43	273	479
39	高 知	0	0	0	3	17	77	19	17	23	156
40	福 岡	1	2	5	3	103	464	86	112	505	1,281
41	佐 賀	0	1	0	0	24	70	19	177	923	1,214
42	長 崎	0	0	2	3	110	99	56	381	963	1,614
43	熊 本	0	0	0	10	34	68	45	372	1,110	1,639
44	大 分	0	0	0	0	24	95	40	102	910	1,171
45	宮 崎	2	0	2	1	31	159	54	55	225	529
46	鹿児島	0	0	2	6	67	131	74	47	141	468
47	沖 縄	0	0	0	0	31	56	24	14	88	213
48	日本学連	0	0	0	0	613	0	638	0	0	1,251
合 計		43	101	87	137	4,522	10,977	4,297	7,634	33,968	61,766
前 年 度		44	71	97	158	4,208	11,942	4,899	7,551	34,113	63,083

会員登録集計表(令和7年度)

令和8年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	333	253	1,546	65	459	309	5,831	177	2,506	7	82	0	11	811	10,768
青 森	240	82	430	35	175	110	2,237	46	672	1	35	3	2	277	3,791
岩 手	367	97	879	66	397	123	2,518	65	1,121	2	31	2	19	355	5,332
宮 城	136	148	699	45	334	270	3,641	130	1,963	3	12	4	26	600	6,811
秋 田	236	58	527	47	299	89	1,588	40	595	1	0	0	4	235	3,249
山 形	179	75	478	44	273	76	1,859	57	720	1	7	0	0	253	3,516
福 島	305	125	544	74	458	175	4,210	83	1,147	1	29	0	2	458	6,695
茨 城	619	123	851	55	409	237	8,549	114	1,779	1	2	0	4	530	12,213
栃 木	128	87	640	44	364	121	4,845	59	1,110	0	15	0	6	311	7,108
群 馬	218	82	736	41	349	134	4,107	53	880	1	20	0	2	311	6,312
埼 玉	386	415	3,438	107	804	434	15,679	145	3,352	0	1	0	136	1,101	23,796
千 葉	682	160	1,523	61	385	374	13,544	150	2,559	2	5	0	15	747	18,713
東 京	238	298	3,118	51	342	235	4,112	272	3,805	1	0	0	70	857	11,685
神奈川	434	113	930	38	295	266	15,635	186	2,685	0	0	0	0	603	19,979
山 梨	119	68	412	27	206	51	673	42	611	0	0	0	14	188	2,035
新 潟	207	98	607	46	278	148	2,430	65	913	0	0	1	15	358	4,450
長 野	142	99	1,249	49	311	104	2,619	84	1,174	2	11	0	5	338	5,511
富 山	137	42	339	23	196	81	1,801	33	738	0	0	0	0	179	3,211
石 川	52	61	477	35	254	81	2,373	49	859	0	0	0	6	226	4,021
福 井	39	38	254	11	101	45	643	13	322	0	0	1	15	108	1,374
静 岡	758	203	1,407	75	516	598	9,543	98	1,321	3	15	4	57	981	13,617
愛 知	258	215	2,219	57	617	417	13,946	238	4,550	0	0	0	10	927	21,600
三 重	132	70	498	29	181	154	4,462	58	1,115	1	11	0	2	312	6,401
岐 阜	81	90	830	42	325	342	3,591	69	1,409	0	0	0	3	543	6,239
滋 賀	105	51	351	27	248	160	896	56	1,242	0	0	0	10	294	2,852
京 都	159	87	619	39	275	82	979	68	1,210	0	0	0	15	276	3,257
大 阪	245	106	1,217	23	146	304	9,101	282	2,536	0	0	0	2	715	13,247
兵 庫	289	136	1,501	61	514	398	12,661	290	4,007	4	41	0	5	889	19,018
奈 良	101	40	658	7	61	56	2,107	34	735	0	0	0	0	137	3,662
和歌山	193	66	595	43	216	139	2,628	37	643	1	24	0	0	286	4,299
鳥 取	50	49	298	20	146	49	621	32	380	1	7	0	0	151	1,502
島 根	98	65	394	25	162	48	1,588	64	720	3	0	0	0	205	2,962
岡 山	140	79	458	41	271	188	4,662	109	1,737	3	0	3	44	423	7,312
広 島	362	190	1,273	30	178	217	4,281	138	2,067	3	44	0	38	578	8,243
山 口	146	103	1,013	37	207	115	2,973	82	1,329	7	95	0	5	344	5,768
徳 島	157	41	339	10	105	89	1,518	23	401	1	25	0	2	164	2,547
香 川	35	41	300	35	166	56	1,696	38	493	3	5	0	4	173	2,699
愛 媛	150	68	550	37	314	129	3,572	81	1,041	4	27	0	0	319	5,654
高 知	56	43	264	13	76	21	473	25	338	1	4	0	3	103	1,214
福 岡	595	156	1,038	43	374	202	5,956	174	2,327	6	42	0	12	581	10,344
佐 賀	171	44	302	35	240	72	1,939	50	630	0	0	0	0	201	3,282
長 崎	403	111	712	41	302	173	2,971	114	1,294	4	21	0	64	443	5,767
熊 本	480	133	753	63	373	152	3,374	61	1,084	3	31	2	7	414	6,102
大 分	120	87	475	21	135	99	1,891	43	570	0	0	2	14	252	3,205
宮 崎	317	92	407	55	379	225	2,327	51	730	0	0	0	1	423	4,161
鹿児島	292	153	775	87	315	202	2,953	81	967	4	45	0	4	527	5,351
沖 縄	70	108	624	28	137	48	595	47	341	0	2	1	11	232	1,780
日本学連	15	4	30	0	0	0	0	0	0	0	0	610	6,251	614	6,296
合 計	11,175	5,153	39,577	1,988	13,668	8,198	202,198	4,306	64,728	75	689	633	6,916	20,353	338,951
令和6年度	12,236	2,335	39,676	674	13,954	4,340	204,101	2,155	63,042	150	833	370	6,316	10,024	340,158

強さは、

VOLTRAGE
SS SV SVS



far beyond ordinary

“積み上げた弱さ”
の先にある。

弱さをこまかさず、VOLTRAGE SS SV SVS
積み上げてきた日々。
変わる自分に寄り添い、一歩先へ導いてくれるラケットは、
中学の部活でも、今のコートでも 一緒だ。

前へ出る
勇気

を覚えてきた。

ローボレーが決まる裏には、届かなかった悔しさがある。
飛ぶボールに追いつきたくて、



FRAME SIZE 90SQ.IN. STRING PATTERN 16x16
MATERIAL HT GRAPHITE / HM GRAPHITE / M40X /
REACT RESIN / MICRO LAMINATE CARBON / VDM



宮前 希帆
アジア選手権 日本代表



失敗も涙も、未来の自分が
感謝する素材になる。

積み重ねた時間とともに、私は次のステージへ進む。
このラケットと一緒に。

NEW / ボルトレイジSVS-SS-SV / ¥24,200(税込) / カラー:ジュエルブルー / 2026年3月上旬発売予定 / 日本製

www.yonex.co.jp f YONEX JAPAN X yy_softtennis yonex_jp @yy_softtennis

VOLTRAGE SS SV SVS

軽やかに弾く、クリアサウンド。



MIZUNO SOFT TENNIS

長谷川憂華(ワタキューセイモア)

長江光一(NTT 西日本)

長江光一(NTT 西日本)

ACROSPEED

2025.12 NEW COLOR DEBUT

特設サイトはこちら



jpn.mizuno.com/ 0120-320-799
jpn.mizunoworld 0120-320-799

高校ソフトテニス部 指導者の実態と 地域連携への入口

～国内の高等学校ソフトテニス部指導者調査から～

(公財) 日本ソフトテニス連盟普及計画委員会

委員長 小峯 秋二

中学校運動部活動の地域連携・地域展開が進むなかで、ソフトテニス競技でも、子どもたちの活動機会を誰がどのように支えるのかが大きな課題になっている。

本稿では高等学校ソフトテニス部の指導者等455名を対象とした調査結果を2回に分けて紹介する。第1回では、回答者の属性、資格保有状況、活動環境、中学生の受入意向、地域クラブ活動等への参加意思を中心に整理する。

調査で確認したこと

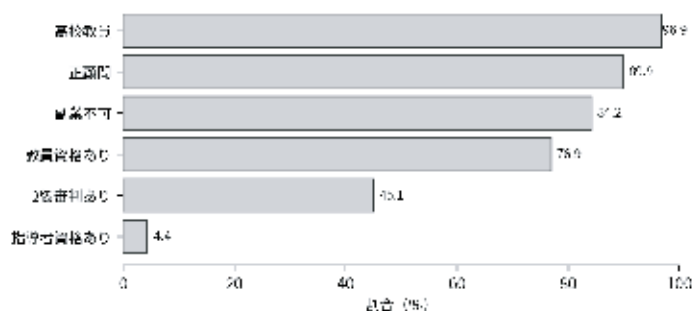
本調査は、高校ソフトテニス部指導者の実態を把握し、今後の地域連携・地域展開を考えるための基礎資料として実施したものである。

回答者455名のうち、高等学校教員は441名(96.9%)、正指導者は409名(89.9%)であった。このことから、本調査は高校ソフトテニス部を日常的に支えている指導者層の実態を反映した資料として読むことができる。回答者の性別は、男性374名(82.2%)、女性81名(17.8%)であった。校種は、公立328名(72.1%)、私立123名(27.0%)、その他4名(0.9%)であり、公立高校の指導者が多数を占めた。

また、副業については「認められている」が72名(15.8%)、「認められていない」が383名(84.2%)であった。

地域クラブ活動等に指導者が関わる場合、兼職兼業、謝金、勤務上の扱いを整理することが重要な前提となる。

回答者属性と資格保有状況の概要



資格と経験から見える特徴

教員資格を有する回答者は350名(76.9%)であった。一方で、指導者資格を有する回答者は20名(4.4%)にとどまり、競技団体の資格制度が高校指導者に十分浸透しているとはいえない。

これに対して、2級審判資格を有する回答者は205名(45.1%)であり、大会運営や競技規則に関わる基礎的な資格を持つ層は一定数存在していた。

選手としての最高成績は、「競技成績はない」が159名(34.9%)で最も多く、次いで「都道府県大会出場」が108名(23.7%)であった。

指導実績では、「都道府県大会出場」が146名(32.1%)で最も多く、「全国大会出場」が97名(21.3%)であった。高校ソフトテニス部は、高い競技実績を持つ一部の指導者だけで支えられているのではなく、多様な競技経験・指導経験を持つ指導者によって成り立っている。

競技年数・指導年数等の概要

項目	平均値	標準偏差	ポイント
競技年数	8.41年	10.15	競技経験には大きな幅がある。
指導年数	11.00年	10.42	指導経験を有する層が一定数存在する。
平日活動日数	3.97日	0.94	平日は週4日前後の活動が中心である。
休日活動日数	1.22日	0.61	休日も週1日以上活動がある。
休日活動時間	4.13時間	2.43	休日活動は時間的負担が大きい。

活動環境から見える課題

対象部は、男子部のみ143名(31.4%)、女子部のみ113名(24.8%)、男女両方199名(43.7%)であり、男女両方を担当する指導者が最も多かった。

指導人数は、1人が131名(28.8%)、2人が169名(37.1%)であり、少人数の指導者体制で活動を支えている学校が多いことがうかがえる。

活動場所は、有効回答450名のうち、校内のテニスコートが400名(有効回答の88.9%)であった。高校ソフトテニス部は、学校施設に強く支えられてい

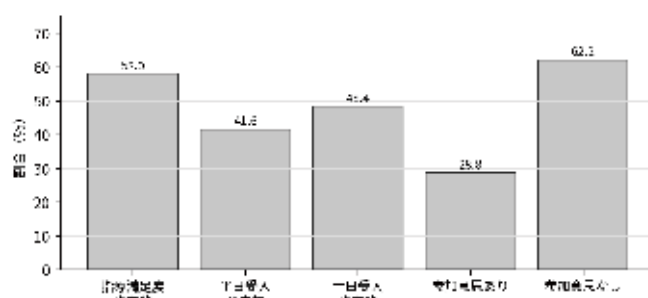
る競技活動である。一方で、代替場所については、「あまりない」193名(42.4%)、「まったくない」163名(35.8%)であり、合計78.2%が代替場所の乏しさを示した。地域連携を進める場合、高校施設は重要な競技資源になり得るが、利用条件、管理責任、安全管理、保険などを事前に整理する必要がある。

中学生受入と参加意思

中学生の受入については、平日では「すでに活動や指導を行っている」54名(11.9%)、「今後は活動や指導を行っても良い」135名(29.7%)であり、合計41.6%が肯定的であった。土日では、「すでに活動や指導を行っている」86名(18.9%)、「今後は活動や指導を行っても良い」134名(29.5%)であり、合計48.4%が肯定的であった。平日よりも土日の方が中学生を受け入れやすい傾向にある。

地域クラブ活動等への参加意思については、「参加意思あり」が131名(28.8%)、「参加意思なし」が283名(62.2%)、「わからない」が41名(9.0%)であった。参加意思を持つ指導者は一定数存在するが、多数派ではない。したがって、高校指導者を一律に地域指導者として期待するのではなく、参加意思のある層を丁寧に把握し、無理なく関われる役割を示すことが重要である。

中学生受入意向と地域クラブ活動等への参加意思



第1回調査から見える実務的課題

第1回調査の結果から、高校指導者は地域連携を支える重要な担い手となり得る一方で、その関与を持続可能なものにするためには条件整備が欠かせないこと

がわかった。

高校指導者の多くは高等学校教員であり、日常的に授業、校務、生徒指導、部活動指導などを担っている。そのため、地域クラブ活動等への協力を依頼する際には、単に「協力できるか」を尋ねるだけでは不十分である。活動時間、責任範囲、謝金の扱い、兼職兼業の可否、事故発生時の対応などをあらかじめ整理し、安心して関われる仕組みを示す必要がある。

また、高校ソフトテニス部の活動は校内コートの割合が高く、代替場所が限られていた。これは、施設確保が地域展開の成否に直結することを示している。高校施設を地域クラブ活動等で活用する場合には、学校管理下の施設であることを踏まえ、利用規程、鍵の管理、事故対応、保険加入、指導者の立会いの要否、使用日時の調整などを明確にしておく必要がある。

さらに、中学生の受入意向は平日よりも土日の方が高かった。高校指導者が地域連携に関わる場合、まずは平日の継続的な受入よりも、休日の合同練習会、技術講習会、交流事業、審判講習などから始める方が現実的である。小さな連携の機会を積み重ねることで、

高校指導者、地域クラブ、中学校、保護者が互いの役割を理解し、無理のない連携体制をつくっていくことができる。

第1回のまとめ

第1回調査から、高校ソフトテニス部指導者は学校部活動を支える中心的存在であると同時に、中学生年代の地域スポーツ環境を支える潜在的人材でもあることが示された。

ただし、副業が認められていない指導者が多く、指導者資格の保有率も低いいため、個人の熱意だけに依存した地域連携には限界がある。今後は、兼職兼業、謝金、保険、責任範囲、施設利用を整理し、参加意思のある指導者が安心して関われる仕組みを整える必要がある。

第2回では、指導者の指導観を分析し、どのような指導者が地域クラブ活動等への参加意思を持ちやすいのかを検討する。

GUMENERGY

ガムエナジー

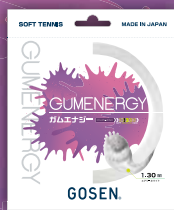
己を超える!



ムーンパープル



スラッシュブルー



エアリーホワイト



グラビティブラック





果物のある生活を。



青木フルーツ株式会社

フルーツバー事業

185 店舗 北海道 7店舗 東北エリア 19店舗 関東エリア 61店舗
北陸・甲信越エリア 14店舗 東海エリア 31店舗 近畿エリア 29店舗
中国エリア 7店舗 四国エリア 5店舗 九州・沖縄エリア 12店舗



フルーツタルト&カフェ事業

15 店舗 福島県 8店舗 宮城県 1店舗 茨城県 1店舗
埼玉県 1店舗 東京都 3店舗 神奈川県 1店舗



フルーツジュース&デリ事業

1 店舗 東京都 1店舗



FRUITS IN LIFE
by fruits shop AOKI since 1924

フルーツショップ事業

7 店舗 福島県 4店舗 宮城県 1店舗 茨城県 1店舗
東京都 1店舗



2026 仁川コリアカップ 国際ソフトテニストーナメント 報告

■6月15日～22日 韓国・仁川市 Yeolwoomul Tennis Center

日本選手団は男女合わせて 7種目中6種目で優勝飾る

男女シングルス、男女ダブルス、ミックスダブルス、男女国別対抗戦の合計7種目が行われる今大会。日本選手団は、昨年全種目優勝こそならなかったものの、6種目で優勝を果たしました。男女監督からの報告が届いたので掲載します。

男 子

今大会出場の目的

- ・他国より多くの金メダル獲得
- ・アジア競技大会へ向けてのチーム強化

今大会での成果

目標にしていた全種目でタイトル獲得は果たせなかったものの、昨年に続き全ての種目において上位独占 (or 入賞) できたことは、今後の日本チームの強化やライバル国に対する影響に関して大きな成果である。

このような勝利を得るために、本大会へ向けて最善の準備をして臨み、過酷な大会期間を互いに支援しながら戦い抜いてくれた選手たち、遅くまでチームマネジメントや対戦相手の分析、選手のケアに努めてくれたスタッフに感謝したい。

また、団体戦での準決勝、中華台北戦においては、チームに一勝をもたらす絶対的な存在であった上松選手が敗れる今までにない状況の中、三番勝負の激闘を制するという日本チームの新たな勝利パターンを生み

出すことができた。上松選手に頼らずチーム全員の力で勝利できたことは、今後控えるアジア競技大会へ向けて、チームの信頼関係をより強固なものとし、さらにこのチームを前進させたと確信している。

加えて、個人戦ダブルスの各ペアのファイナルゲームでの敗戦から、劣勢からの逆転パターンに関する新たな戦略を学び、団体戦で実行し勝利できたことは、現状では常にチャレンジされる立場にある日本チームにとって大きな収穫となった。

スケジュール

日程	午前	午後	夜
6/15 (月)		移動	
6/16 (火)	公式練習	公式練習、監督会議、レセプション	
6/17 (水)	シングルス1日目	シングルス1日目	ミーティング
6/18 (木)	シングルス2日目	ダブルス1日目	ミーティング
6/19 (金)	ダブルス2日目	ミックスダブルス	ミーティング
6/20 (土)	団体戦	団体戦	ミーティング
6/21 (日)	各種目決勝戦	各種目決勝戦	表彰式
6/22 (月)	移動	移動	

※女子も同じスケジュール

個人戦のシングルスにおいては、上松選手が力を示したものの、若手筆頭のひとりである矢野選手が、韓国・中華台北の国家代表選手に勝利を収めて決勝戦まで勝ち抜き上松選手と接戦を繰り広げた。上松選手頼りであったシングルスにおいての次世代選手の頭角は、今後の日本チームにとって新たな希望となった。

9月に実施されるアジア競技大会へ向けての取り組みや、強い意識が表現された試合にもなり、合宿での取り組みを評価することもできた。今までの取り組みに関しても一定の成果と結果を得ることができたことで、合宿での強化項目がよりリアルになり、今後の選手たちの取り組みがさらに充実すると考えられる。

ライバル国（韓国・中華台北）に関して、アジア競技大会代表選手として決定している選手の情報や今まで知り得なかった情報を手に入れることができた。今後分析を進め、アジア競技大会に向けてのチームの戦略決定の材料へと活用していきたい。

結果

シングルス	
優 勝	上松 俊貴
準 優 勝	矢野 颯人
ベスト 8	内本 隆文、広岡 宙、丸山 海斗
ベスト 32	黒坂 卓矢
ダブルス	
優 勝	内本・上松ペア
ベスト 8	矢野・広岡ペア
ベスト 16	黒坂・丸山ペア
ミックスダブルス	
優 勝	上松・天間ペア
第 3 位	丸山・前田ペア
国別対抗戦	
優 勝	日本

選手団

監督：篠原 秀典、コーチ：増田 健人、トレーナー：兼平 智孝

アナリスト：緒方 貴浩、マネージャー：川上 晃司

選手：上松 俊貴、内本 隆文、黒坂 卓矢、広岡 宙、丸山 海斗、矢野 颯人



日本男子選手団

今後の課題

大会を通して、選手のパフォーマンスを実戦において評価することができ、チームと選手それぞれが新たな課題を獲得することができた。

特に劣勢からのゲームメイクや、その時に必要となる考え方や技術、ペースチェンジのタイミングなどに関して、大会期間を通して学び課題として提示した。対戦国も強化を進めており脅威となっているが、日本チームとしては、現状の優位性を活かしつつ、より多



男子単複とミックスダブルスの3種目で優勝を飾った上松選手

い運動量とそれに連動する思考、技術を磨き、戦略面においてもさらに強化を進めることにより、さらなるアドバンテージを獲得していきたい。今後の合宿においても9月に控えるアジア競技大会へ向け

て強化を進めていきたい。

アジア競技大会まで限られた時間と合宿を残すのみとなっているので、本番において自信を持ってプレーできるペアでのコンビネーションも向上させていきたい。



選手に話しかける篠原男子監督(写真右側)

謝辞

今回の大会にあたり、オフィシャルサプライヤーであるヨネックス様には、ストリングサービスなどにより、選手のパフォーマンス発揮のためのサポートをいただいた。また、韓国連盟の方々には、通訳なども含めて現地での細かな対応において多くのことにご配慮をいただいた。

この場をお借りして、開催いただいた韓国連盟の方々はじめ、大会運営やチームの活動へ関わってくださったすべての方々に対して感謝したい。

(文・篠原秀典監督)

女子

今大会出場の目的

- ・ 今年のアジア競技大会に向けての課題出しとアジア選手権大会へ向けての強化
- ・ 昨年同等以上の全種目金メダル獲得 (昨年のシングルス：金・銀、ダブルス：金、国別対抗戦：金、ミックスダブルス：金)

今大会の結果と内容

昨年は負傷者2名を抱えながらも総合力で全種目金メダルを獲得した。今年はアジア競技大会の前哨戦として位置づけ、「結果にこだわりつつ、個々の力を試す」「怪我をしない万全の準備」を方針に大会へ臨んだ。

昨年獲得していたシングルの金メダルを逃したも

の、総メダル数は増加 (昨年の5個から今年は7個へ)。選手たちは強豪国を相手に自らの力を試しながら戦い抜いた。ダブルス・ミックスダブルスでは不運な組み合わせにより、準決勝で日本代表同士の対戦となったが、各選手が高い集中力で試合に臨み、着実に結果を残し多くのメダルを獲得した。

5日間で1人あたり15～20試合という過密日程の中、選手全員がコンディションを維持し、怪我なく最後まで戦い抜いた。その過程で、選手が勇気を持ってチャレンジしたことで新たな課題が明確になり、アジア競技大会に向けて大きな成果を得ることができた。

本大会のコリアカップで得た課題を全員で共有し、7月からの強化合宿にて改善に取り組む。また、強豪国の戦略・戦術を解析し、どのような状況でも最高パフォーマンスを発揮できる戦略を構築し、アジア競技大会での完全制覇の達成につなげていく。

さらに、気温差や雨天などコンディショニングが難しい環境下において、スタッフと選手が一体となり、身体ケアおよび試合への集中力維持に努めた。これらの取り組みにより、チームとして高いパフォーマンスを発揮できたことに対し、スタッフを含むチーム全員に深く謝意を表する。

今後の課題

今回の大会を通じて他国の状況を確認した結果、今年も韓国と中華台北が最大のライバル国となることが明確になった。

中華台北とは対戦機会が少なく、実力比較が十分にできなかった点は残念であったが、若手の成長株である前衛兼シングラー CHIAHG MIN YU 選手が台頭しており、今後の脅威となる存在である。また、左利きでエースの HUANG SHIH YUAN 選手も健在で、ミックスダブルスおよびシングルスでの出場が予想される。

結果

シングルス	
優 勝	韓国・JEONG SANCHEE
準 優 勝	宮前 希帆
ベ ス ト 4	天間 麗奈
ベ ス ト 8	前田 梨緒、岩倉彩佳
3 回戦敗退	高橋 偲
2 回戦敗退	中谷さくら
ダブルス	
優 勝	天間・宮前ペア
ベ ス ト 4	岩倉・高橋ペア (天間・宮前ペアと対戦)
ベ ス ト 8	前田・中谷ペア (天間・宮前ペアと対戦)
ミックスダブルス	
優 勝	上松・天間ペア
ベ ス ト 4	丸山・前田ペア (上松・天間ペアと対戦)
国別対抗戦	
優 勝	日本

※金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル3個。合計7個のメダルを獲得(昨年:5個)

選手団

代表監督：佐藤 英宣、コーチ：三浦 洋美、トレーナー：市山 裕梨
アナリスト：高橋 和孝、マネージャー：川上 晃司
選手：岩倉 彩佳、宮前 希帆、天間 麗奈、前田 梨緒、中谷 さくら



日本女子選手団

韓国は、一昨年・昨年とエース2名が引退したことで戦力低下が噂されているものの、昨年のアジア選手権ダブルス銀メダルの左利き HWANG JEONGMI 選手が急成長している。同選手は国別団体戦のシングルス、個人戦シングルスへの出場が見込まれ、依然として警戒が必要である。その他の選手もパワーを活かしたストロークを磨き上げており、油断できる状況ではない。

これらを踏まえ、今後の強化合宿では以下の点を重点課題として取り組む。

- 今大会で明確になった新たな課題の改善。
- 韓国・中華台北の両エースが左利きであることを踏まえた、レフティー対策の強化。
- 今大会で得た他国の状況を判断基準とし、圧倒的な力で挑める戦略の構築。
- アジア競技大会に向けて、どの状況でも最高パ



佐藤女子監督の話を聞く選手達

パフォーマンスを発揮できる戦術の精度向上。

これらの取り組みを通じて、アジア競技大会での完全制覇の実現につなげていく。

謝辞

コリアカップ大会期間中、ヨネックス様のストリングの張り替えなどのサポートで、万全な準備で試合に挑むことができました。そのお陰で、選手全員が最高のパフォーマンスを発揮することができ、目標達成できました。きめ細かなサポートに感謝申し上げます。

また、通訳の方を含めた韓国連盟の方々、色々場面でチームに関わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文：佐藤英宣監督)



会場入りする日本女子選手団（写真左側）

バッジ・カップ・トロフィー・楯・旗・ネームプレート・ギフト品・各種記念品



株式会社

秋 場 徽 章

〒110—0003 台東区根岸4—2—4 2F

TEL03(3873)1955 FAX03(3873)1599



Developing Technology into the Future

私たちは、トータルな視野でシステムを捉えお客様の個別のニーズに的確に対応します。



カメラモジュール・水晶デバイス・センサデバイスなど、電子部品の生産設備を複合的な技術と視点で、計画から開発・運用サポートまでのソリューション型製品として提供しています。

アクティブアライメント装置 AAAS860

CMOSセンサへVCMユニットを組み合わせ、6軸でアクティブアライメント後、接着剤の仮硬化を行います。



レンズ組み立て装置 ALDS860

複数枚のレンズを一枚ずつ搭載し、接着剤塗布・UV硬化を行い、収納トレイに収納を行います。



リッド仮付け・真空アニール・真空シーム溶接装置装置 AVSS860

水晶振動子、MEMSセンサなどのセラミックパッケージにリッド仮付け・真空アニール後、真空中で気密封止を行います。



全日本アンダー14女子強化合宿

(全日本アンダー14男女合同強化合宿)

報 告

■5月18日～21日
福島県・白川郡棚倉町 テニスパーク棚倉

■監督：松崎 法夫、コーチ：海江田 佐奈美、トレーナー：平良 明日香

合宿の目的とその方法

- ①日本代表として世界のトップに立つ意識を持たせる
→方法：ミーティングなどによって国際大会に対しての意識を育成する。
- ②人間力を持ち合わせた自立した選手の育成(愛される人間性を身につける)
→方法：他競技で活躍するスポーツ選手の考え方や成功する方程式を学び人間力を高める。
- ③フットワークの強化(ボールを打つ時の様々なフットワークの実践)
→方法：フットワークを良くする(ボールに応じての足捌きによって安定したボールコントロールを実践する)。
- ④思考力や観察力を高める
→方法：相手のことや先のことを考える力を身に付けさせるために、相手の心理や考えに注目させる。
- ⑤U-14男子とのミックスダブルスで競技力を高める
→方法：U-14男子の威力のあるボールやテンポの早い打球に対しての対応を磨く。
- ⑥ウォーミングアップの方法やトレーニングの方法、熱中症予防について学び、自ら継続的に実践できる力を養う
→方法：平良トレーナーからの指導を理解させ合宿中に実践できるようにさせる。

合宿の成果と課題

- ①ミーティングを通して、U-14メンバーとしての心構えと高い競技力を目指す志を持てたと感じる。
- ②成功する方程式について学んでもらい、どんな時も「ご機嫌でいる」ことの重要性を理解してもらったと思う。あとは普段の私生活から実践し

てもらいたいと思う。

- ③今回のフットワークは、「ボールを打つ時の足捌き」に着目し、様々なボールに対して、足を使ってラケットを動かすことを理解し、相手選手に読まれにくい打ち方を実践できたと感じる。
- ④ミーティングのなかで、「相手の置かれた状況を把握したうえで、相手の表情や仕草を観察して予測にかなげることを伝えた。今後、戦術を考える一助にしてほしいと思う。
- ⑤U-14男子選手と試合をしたことにより、男子選手のスピードを体感し、それに適応する能力を育成できたと感じる。
- ⑥平良トレーナーの指導により、2月の合宿から継続的にトレーニングの実施報告をさせていたことから、トレーニングに対する理解度は高まっていると感じる。また、競技力も明らかに向上していたので、トレーニングの継続が、ソフトテニスのスキルアップに影響を及ぼしたと分析している。

謝辞

今合宿に際しましては、所属選手の参加につきましてご理解いただき心より感謝申し上げます。男子選手とミックスダブルスという形式で試合ができたことは、



今回の合宿に参加した全日本アンダー14女子の選手達

自らの競技力を理解することにつながり、さらに向上心を高めることができたと考えています。

競技人口の減少や、4年後のアジア競技大会参加が危ぶまれる現状を打破できるような魅力的な選手が育ってくれることを強く期待しています。

参加した女子選手たちの今後のますますの活躍を期待して御礼の言葉といたします。ありがとうございます。

今後とも日本のソフトテニス界のために力を尽くしたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いします。



選手達はハードコートで練習に打ち込んだ



屋内コートでミーティング中のスタッフと選手達



合宿期間中の夜にはいろんなテーマのミーティングが必ず行われた



屋外コートに集合したスタッフと選手達

活動内容

5月18日(月)

15:00 コート集合

- ・ウォーミングアップ
- ・体力測定(1名のみ)
- ・ボールを打つ時の様々なフットワークの実践
- ・ハーフスライスボレーの実践
- ・クールダウン

夕食後ミーティング(20:00～)

- ①平良トレーナーによる「熱中症予防やその対策について」の講義および実践
- ②海江田コーチによる「全日本シングルスのご感想」「U-14女子チームメンバーとしての自覚と行動」「高井強化委員長が求めるもの」についての講話
- ③松崎監督による「全日本シングルスにおけるフットワーク」についての講話

5月19日(火)

7:00 朝食

8:30 コートへ移動

※午前中の活動時間8:30～12:00

- ・ウォーミングアップ
- ・シングルスゲーム(ファイナル9ポイントマッチ)

・クールダウン

昼食後にアンチ・ドーピング部会の委員である上遠野先生によるアンチ・ドーピング講座

14:00～17:30

- ・ウォーミングアップ
- ・ダブルスゲーム(7ゲームマッチ)
- ・クールダウン

夕食後ミーティング(20:00～)

- ①平良トレーナーから「食事の大切さ」「応援すること」についての講話
- ②海江田コーチによる質疑応答
- ③松崎監督から「全日本シングルスにおけるフットワーク②」「成功するための方程式」や「牛のみいちゃん」という絵本による食事学

5月20日(水)

7:15 朝食

8:30 コートへ移動

※午前中の活動時間9:00～12:00

- ・ウォーミングアップ
- ・ミックスダブルス(4チームに分かれての団体戦形式:各試合は7ゲームマッチ)
- ・クールダウン

昼食後に医学部会の委員である今井先生によるスポーツ栄養講座

13:00～17:00

- ・ウォーミングアップ
- ・ミックスダブルス(4チームに分かれての団体戦形式:各試合は7ゲームマッチ)
- ・クールダウン

夕食後ミーティング(20:00～)

- ②平良トレーナーからの総評
- ②松崎監督による他競技から学ぶフットワーク及び積極性の必要性について等

5月21日(木)

7:15 朝食

8:30 コートへ移動

※午前中の活動時間9:00～12:00

※雨天により室内コートで練習

- ・ウォーミングアップ
- ・相手選手の狙いを外すストローク練習(フットワークを意識しての相手をはめる打ち方)
 - ①バックハンド(ベースライン付近から)
 - ②フォアハンド(サービスライン付近から)
- ・ダブルスゲーム(ファイナル1ゲームマッチ)
- ・クールダウン

全日本アンダー 21 男子強化合宿

報 告

■6月30日～7月2日
埼玉県・熊谷市 彩の国くまがやドーム

■監督：紙森 隆弘、コーチ：小牧 幸二、トレーナー：溝口 英二

合宿の目的

本合宿は、令和8年度全日本選手権大会およびその先の国際大会を見据え、ナショナルチームを目指すU-21世代選手の競技力向上を目的として実施した。

特に、後衛・前衛それぞれの専門技術の向上に加え、近年競技レベルの向上に伴い重要性が増しているダブルフォワードへの対応力や、ゲームにおける戦術理解・判断力の強化を図ることを主眼とした。

また、異なる所属やカテゴリーの選手が共同生活と練習を行うことで、トップレベルの技術や考え方に触れる機会を創出し、選手間の相互刺激による競技意識の向上を目指した。

さらに、トレーナーによるフィジカルサポートや栄養講習会を通じて、競技力の基盤となる身体づくりやコンディショニングに関する知識の習得を図り、年間を通じて高いパフォーマンスを発揮できる選手の育成を目的とした。

合宿の成果・課題

毎年9月に全日本選手権大会に向けて有明テニスの森公園で合宿を行っていたが、本年度は9月にアジア競技大会が日本で開催されるため、今回の合宿は6月に開催した。梅雨の季節でもあるので埼玉県熊谷ドームで行った。2泊3日の合宿で2日目、3日目は生憎の雨であったが、ドームで練習していたので天候に左右されることはなく無事終了することができた。

今回の合宿にはナショナルチームで代表に選ばれなかったU-21世代の選手とハイスクールジャパンカップシングルス優勝したばかりの塚本選手を招集することができ、U-21の選手たちにはとても刺激のある時間を共有することができた。

練習については後衛・前衛に分かれての技術の追求やダブルフォワードの対応練習を行った。また、この後に行われる東日本選手権大会・西日本選手権大会・全

日本学生選手権大会に向けてゲーム練習を行いながらゲームでの考え方や相手との駆け引きなどについても話し合った。

謝辞

今回の合宿に際し、日本ソフトテニス連盟をはじめ埼玉県ソフトテニス連盟には、さまざまな面でご配慮くださりありがとうございます。また、ヨネックス様をはじめ、メーカーの皆様のご協力に感謝して御礼の言葉といたします。

トレーナーより

前回の4月に実施した2回目より、カラダの大きさに変化のある選手も見られた。フィジカルは全てのスキルにつながる要素なので引き続き、合宿できっかけを与えていきたい。

今回の合宿では部会の先生に栄養の講義も行っていただき、改めて食事、そして、水分補給についての理解も深めることができた。この先にある東日本、西日本、そしてインカレでベストパフォーマンスを発揮できるように、引き続きサポートしていきたい。



円陣を組んで気合を入れる選手達



合宿の会場となった「彩の国くまがやドーム」



砂入り人工芝コートでレシーブの練習をする選手



2日目の午後に開かれた栄養講習会



コートに集まってスタッフの話を聞く選手達

活動内容

6月30日(火)

- 13:00 集合
- 10 ミーティング
- 30 ウォーミングアップ
- 14:00 ボレーボレー
- 30 ストローク
- 15:10 フォワードを意識した手投げの1本打ち
- 40 ダブルフォワードに対応したストローク練習
- 16:20 ミドルのボールを取るボレー練習
- 50 クールダウン
- 18:30 ミーティング
- 19:30 終了

7月1日(水)

- 9:00 ウォーミングアップ
- 30 ボレーボレー

- 50 ストローク
- 10:45 後衛前衛に分かれて練習
〈後衛〉
- ・ストロークで時間を作って打つ練習
- ・ストロークで時間を作って逆に打つ練習
- 〈前衛〉
- ・バックストロークで前に詰めて打つ練習
- ・バックストロークで前に詰めて打ち分ける練習
- 流す方向へ飛ばすバックボレー
- 逆に飛んできたボールを後ろで取るバックボレー
- 12:20 クールダウン
- 40 昼食
- 13:00 栄養講習会

- 45 ウォーミングアップ
- 14:00 ゲーム
- 16:50 クールダウン
- 18:30 ミーティング
- 19:30 終了

7月2日(木)

- 9:00 ウォーミングアップ
- 30 ボレーボレー
- 40 ストローク
- 10:00 ペア練習
- 20 ダブルスゲーム
- 11:45 昼食
- 12:30 ダブルスゲーム
- 13:00 前衛間合いを合わす練習
- 45 クールダウン
- 14:10 ミーティング
- 30 終了



変わりゆく時代に

変われる強さを。

株式会社 **IFEES**



ホームページ

第80回 西日本ソフトテニス選手権大会

■7月4日・5日 徳島県・徳島市 大神子病院しあわせの里テニスセンター、むつみパーク蔵本テニスコート、
徳島大学医学部テニスコート、阿南市 JAアグリあなんテニスコート

徳島県ソフトテニス連盟

一般男子



優勝
内本 隆文・上松 俊貴族
(広島. NTT 西日本)

35 男子



優勝
古賀 崇史・黒羽 祥平
(和歌山. MONOLITH・徳島. 徳島抽栄会)

45 男子



優勝
花田 直弥・山田 拓未
(京都. 京都市役所・徳島. 大神子病院)

一般女子



優勝
原口 美咲・宮前・希帆
(京都. ワタキューセイモア)

35 女子



優勝
西村 美香・八木 朋美
(愛媛. 愛媛にぎたつクラブ・GOAT)

45 女子



優勝
足利 奈央・吉崎 香奈絵
(岡山. クラレ岡山・B-JOKER)



会場では観客が熱心に選手を応援していた

第81回 東日本ソフトテニス選手権大会

■7月18日・19日 山形県・山形市 山形市総合スポーツセンターテニスコート、
天童市 山形県総合運動公園テニスコート、酒田市 酒田市営光ヶ丘テニスコート、
酒田市国体記念テニスコート

山形県ソフトテニス連盟

一般男子



優勝
川崎 康平・黒坂 卓矢
(日本学連. 日本体育大学)

35 男子



優勝
大城戸 宏和・星 森人
(埼玉. 上尾高校 OB・さいたま STC)

45 男子



優勝
高山 泰英・高山 知之
(石川. 兼六クラブ)

シニア男子 50



優勝
清水 賢二・小笠原 敬之
(千葉. 松戸市役所・小金原クラブ)



会場の1つである天童市山形県総合運動公園テニスコート

会場に張られていた今大会の横断幕



シニア男子 55

優勝

濱田 英明・八巻 一也
(東京. 練馬ソフトテニス・山梨. 新星クラブ)



シニア男子 60

優勝

千野 一也・堀越 晴夫
(東京. たちばなクラブ・板橋倶楽部)



シニア男子 65

優勝

近江 雅喜・奥地 幸孝
(岩手. 陸前高田市協会・東日クラブ)



シニア男子 70

優勝

石川 雅利・吉増 健一
(千葉. 市川クラブ・東京. 多摩クラブ)



シニア男子 75

優勝

大森 国義・吉岡 憲二
(東京. 睦クラブ・埼玉. 浦和あづま)



シニア男子 80

優勝

小松代 智夫・藤沼 宣弘
(東京. 旭テニスクラブ・栃木. 宝木クラブ)



一般女子

優勝

天間 麗奈・宮下 日香莉
(日本学連. 日本体育大学)



35 女子

優勝

我妻 万美・豊田 朋恵
(東京. 杉並文化クラブ)



45 女子

優勝

星 梨絵・赤石 みゆき
(千葉. 小金原クラブ)



シニア女子 50

優勝

原 美香・金井 久美子
(神奈川. 横浜PSC・東京. 練馬ソフトテニス)



シニア女子 55

優勝

宮尾 真由美・花園 安紀
(埼玉. 所沢ペアート・東京. 杉並文化クラブ)



シニア女子 60

優勝

堺 小百合・吉野 さおり
(北海道. 札幌若葉クラブ・札幌 MA クラブ)



シニア女子 65

優勝

小野寺 真智子・益子 益代
(宮城. けやきクラブ・茨城. 日立はまゆう)



シニア女子 70

優勝

犬養 久子・福田 淳子
(埼玉. 岩槻すみれ・栃木. 富士見が丘クラブ)



シニア女子 75

優勝

高橋 道子・石井 啓子
(埼玉. 所沢ペアート・茨城. 日立はまゆう)



シニア女子 80

優勝

木元 貞子・舟根 慶子
(埼玉. 北本メイツ・浦和リバース)

支部功労者・優良団体

紹介

Vol.6 神奈川県

支部功労者

伊東 和彦 氏

〈受賞の感想〉

この度は、支部功労者として表彰頂き有難うございます。今後の活動をさらに高めていく思いを新たに致しました。

小学5年生から弟と一緒に夏休みの早朝、近くの中学校のテニスコートで父親にボールを打たせてもらったのがソフトテニスに接する最初でした。中学、高校、大学と軟式庭球でウッ드의ラケットを振り、現在は軽くて高性能のラケットで子供達とソフトテニスを楽しんでおります。

思い出としては、平成27年12月にジュニアの育成とソフトテニスの普及に対して賞を頂き、小学生、中学生の育成のお手伝いも行いながら現在に至っています。

〈今後の抱負〉

神奈川県ソフトテニス連盟副会長、県央協会会長、地元秦野協会会長としてソフトテニスの普及に努めると共に、子供達3人がお世話になりました地元中学校の部活動指導協力者として、今後の中学校部活動地域移行についても皆様と協力して進めて参ります。



神奈川県ソフトテニス連盟の推薦理由

長きにわたり、県央協会の活性化、愛好者増加等の企画を行い、県央協会の発展に大きく寄与した。また、県連副会長としても現在も県連盟の発展に尽力されている。

支部功労者 石井 順子 氏

〈受賞の感想〉

この度は支部功労者として表彰をいただき、心より感謝申し上げますとともに、身に余る思いで恐縮しております。

中学時代に軟式庭球と出会い、学生時代8年、主婦として46年にわたりソフトテニスに携わってまいりました。区の大会から始まり、市や県、県外の大会にも出場し、初心者ママさんクラブの指導や高校部活動の指導にも関わってきました。また、県のレディース連盟役員としても20年間努めて参りました。

〈今後の抱負〉

これからは近くのコートにも積極的に足を運び、ソフトテニス愛好者増加やソフトテニス競技の発展のために長く携わっていきけるように、元氣な限り身体を鍛えながら続けていきたいと思っています。



神奈川県ソフトテニス連盟の推薦理由

長きにわたり、神奈川県レディース連盟の理事や副会長、現在は神奈川県ソフトテニス連盟代議員の重職を担い、選手として主要大会に参加しながら県レディース連盟の発展に大きく寄与した。

優良団体

JX 金属倉見

〈受賞の感想〉

この度は、日本ソフトテニス連盟の優良団体表彰を頂き、大変光栄に思います。また、関係者各位に対し、改めて深く感謝申し上げます。

JX金属倉見ソフトテニス部は、1964年の工場創設時より活動しております。当初は業務終了後に楽しむ程度でしたが、現在は実業団選手権に出場できるようになり、昨年は6年ぶり2回目のSTリーグⅡに出場することもできました。

日々の忙しい業務を送りながらの限られた時間の中ではありますが、各自で工夫しながらソフトテニスが続けており、日々の良い刺激や学びにつながっていると感じています。

〈今後の抱負〉

今後も、出場する大会ではベストを尽くすとともに、神奈川県寒川町地域をはじめとする、ソフトテニスの活



性化に貢献していきたいと考えています。

勝ち負けだけではなく、常に楽しむ気持ちを忘れずに、心身一如の考えを大切にしながら、心と身体のバランスを意識し、安全第一で日々の活動に取り組んで参ります。

神奈川県ソフトテニス連盟の推薦理由

倉見工場創設時よりソフトテニス部が活動し、神奈川県内で実業団チームが少ない中、県内大会はもちろん、全日本実業団選手権や実業団リーグ（STリーグ）に出場し、県内の実業団チームを牽引するチームのひとつである。昨年度はSTリーグⅡの出場権を得て、大会に臨んだ。

支部功労者・優良団体

紹介

Vol.7

福岡県

支部功労者

中村 正広 氏

〈受賞の感想〉

この度は支部功労者という大変光栄な賞をいただき、心より感謝申し上げます。

長年にわたり、小学生のソフトテニスの監督として活動を続けてこられたのも多くの皆さまの支えがあったからこそです。今回の受賞を励みに、これからも地域スポーツの発展と子供達の成長のために努めてまいります。

〈今後の抱負〉

今後も子供達の成長を大切にしながらソフトテニスの発展に貢献してまいりたいと思います。

また、ソフトテニスを通して子供達がこれからの人生を強く歩んでいくための支えとなるよう努めてまいります。



福岡県ソフトテニス連盟の推薦理由

福岡県の小学生大会開始当初から、試合の運営等を担ってきた。さらに、30年以上福岡県の小学生部会会長として、県内のクラブを取りまとめ、その発展に寄与した。

自身の小学生クラブ「大牟田リトルキッズ」においては、ソフトテニスは生涯スポーツの考えのもと指導を行い、多数の優秀な選手を輩出してきたところである。また、上位団体の役員としても長年貢献し、他県との交流にも努めてきた。

支部功労者

木下 通 氏

〈受賞の感想〉

私は中学から軟式庭球（ソフトテニス）を始め、高校・大学・社会人（市役所）と75年間プレーを続けてきました。大牟田市ソフトテニス連盟では、理事長、会長、名誉会長を務め、その間、テニス教室や小中学生から壮年まで参加できる大会の開催など、市内のソフトテニスの普及・発展に努めてきました。

今回、このような形で受賞できましたのも、現会長をはじめ周囲の皆様の支えがあったからこそだと思っています。支部功労者表彰をいただき、大変光栄に思うとともに、皆様に心より感謝申し上げます。

〈今後の抱負〉

大牟田市では、ジュニアや高校生の活躍が続いています。私は令和7年度末をもって大牟田市ソフトテニス連盟の名誉会長を退きましたが、今後もソフトテニスへの想いは変わらず、さらなる発展を願っています。

現在は、日課となっている近所の公園の散歩を続けながら健康に過ごしております。今年で87歳となりますが、これまで大きな病気もなく元気でいられたのは、長年ソフトテニス続けてきたおかげだと感じています。これからも、地元選手の皆さんの活躍と、ソフトテニス界のますますの発展を心より願っております。



福岡県ソフトテニス連盟の推薦理由

温厚篤実で、大牟田市のソフトテニスの普及・発展を図るため積極的に活動し、長年にわたり大牟田支部において中心的な役割を担ってきた。

平成6年度より大牟田市ソフトテニス連盟の会長、平成28年度からは名誉会長と歴任し、毎年、市長杯や会長杯をはじめ、九州各県から多くの選手が参加する広域大会、小中学生からシニアまでが参加できる大会を主催するとともに、中学生等を対象とする指導講習会を開催するなど、大牟田市におけるソフトテニスの振興、発展、選手の技術向上に寄与している。

また、本年度において大牟田市の市政功労者を受賞予定である。

アカエム140年の ルーセント

公認球
最安値!!

LUCENT

2025年10月1日より

ボール値下げでソフトテニス応援続行します!

東日本営業部長
星

ソフトテニユーザー応援

西日本営業部長
源口

物価高でも、ボール値下げで応援続行!
あえて値下げに踏み切りました。
気軽にボールを手にして
ソフトテニスをもっと楽しんでください!

アカエムボール (公認球)
(ホワイト・イエロー・ピーチレッド)

メーカー希望小売価格

改定前: 1ダース

~~5,400円~~

(税込5,940円)

改定後: 1ダース

4,680円

(税込5,148円)



アカエムプラクティス (練習球)
(ホワイト・イエロー・ピーチレッド)

メーカー希望小売価格

改定前: 1ダース

~~4,560円~~

(税込5,016円)

改定後: 1ダース

3,840円

(税込4,224円)



実際の販売価格は販売店にご確認ください。

モノづくりを支える最高のパートナー



YOSHIZAWA

Yoshizawa Co., Ltd.



鈴鹿サーキット横にある会社！

真空成形トレーの製造、金型作製
プラスチックダンボールの製造、ポリ袋の製造

鈴鹿市を！三重県を！ 全員で盛り上げていく会社です！

ヨシザワは、福利厚生に力を入れています！

毎年開催されるスポーツ大会やたてぼし、餅つき大会など、

みんなで楽しめるイベントが盛りだくさん！

サークル活動もあり、他部署との交流ができるのも魅力のひとつです！

さらに、ソフトテニス実業団は14名で活動し、全国大会で最高3位という実績もあり
全国に名をとどかせています！



たてぼし&海鮮BBQ



ざわ吉 / 箱よし



サークル活動様子 (アグリサークル)



リサイクルポリ袋

工場見学は事前連絡が必要です。お問い合わせはこちらからお願いします。

お電話から

☎ 059-389-7757 受付時間：平日8:00-17:00

WEBから

右のQRコードからお申し込みください。 受付時間：24時間OK！



問い合わせ



インスタ



株式会社ヨシザワ

三重県 鈴鹿市 御園町 4057番地3
営業時間 8:00-17:00 / 定休日 土曜・日曜

株式会社ヨシザワ

<https://www.yoshipack.co.jp/>

北海道

●第78回 北海道ソフトテニス選手権大会

7月5日 旭川市花咲スポーツ公園テニスコート

【一般男子】77ペア

▽準決勝

木原・五十嵐 ④-2 大澤・及川
(北翔大学) (札幌学院大学)

藤田・守屋 ④-3 東・佐藤
(北海道電力・三愛クラブ) (札幌学院大学)

▽決勝

木原・五十嵐 ④-1 藤田・守屋

【一般女子】36ペア

▽準決勝

大和・石田 ④-1 長嶺・辻道
(北翔大学) (札幌大谷高校)

川島j・杉本 ④-2 高橋・松井
(札幌大谷高校) (なべ'sチルドレン・札幌ウインソフト)

▽決勝

大和・石田 ④-3 川島j・杉本

【35男子】13ペア

▽準決勝

金森・田中 ④-0 外山・岡
(札幌学院クラブ・旭川信金) (CRANES)

室田・勅使河原 ④-1 川崎・小峯
(JR北海道・札幌なんせんす) (Clubエバ・北翔アルバ)

▽決勝

金森・田中 ④-3 室田・勅使河原

【45男子】6ペア

1位：成田・丹羽 (札幌三省クラブ・北見連盟)

2位：吉田・今井 (北見連盟・北海道電力)

【シニア男子50】4ペア

1位：三田・安田 (札幌学院クラブ)

【シニア男子55】4ペア

1位：安田・土井 (函館市役所・北見市役所)

【シニア男子60】5ペア

1位：阿部・成澤 (北見連盟・札幌MAクラブ)

【シニア男子65】6ペア

1位：佐藤・三浦 (釧路協会)

2位：菊地・谷口 (札幌やこぜん・音更連盟)

【シニア男子70】5ペア

1位：矢口・杉本 (紋別協会・旭川暁クラブ)

【シニア男子75】3ペア

1位：遊佐・北嶋 (北見連盟・札幌もみじ台クラブ)

【シニア男子80】3ペア

1位：渡辺・御厩 (札幌やこぜん・札幌もみじ台クラブ)

【35女子】2ペア

1位：伊藤・池田 (SAKURA STS)

【45女子】11ペア

1位：土岐・高橋 (ウィズ旭川)

2位：石谷・伊東 (ピリカ白老・札幌MAクラブ)

3位：佐藤・遠藤 (札幌MAクラブ・札幌三省クラブ)

【シニア女子50】3ペア

1位：本間・西野 (札幌青陽クラブ・札幌太平南)

【シニア女子60】7ペア

1位：堺・吉野 (札幌若葉クラブ・札幌MAクラブ)

2位：藤岡・北山 (函館ベテランクラブ・旭川暁クラブ)

【シニア女子70】7ペア

1位：宮岸・津田 (旭川のんびりクラブ・旭川迷球会)

2位：名和・柳谷 (旭川女子クラブ・帯広MTクラブ)

関東

茨城 栃木 群馬 埼玉
千葉 東京 神奈川 山梨

茨城県

●第22回茨城近県小学生ソフトテニス大会

7月11日・12日 神栖海浜公園テニスコート

【高学年男子】

1位：山田 嵩人・山口 光星 (神奈川. 南大師・川崎STC)

2位：中村 匠・中崎 翔 (茨城. 美浦 Jr・霞ヶ浦STC)

3位：西川 拓真・大森 澄人 (栃木. BCファイターズ)

3位：渡邊 颯馬・蓮沼 大晴 (千葉. 浦安・かずさスマイリーズ)

【高学年女子】

1位：小林 結花・鈴木 裳彩 (茨城. みらい Jr)

2位：田村 夏音・関山 愛優梨 (茨城. みどりの・土浦 Jr)

3位：川口 あん・吉田 聖織 (神奈川. 座間 Jr・川崎STC)

3位：池田 美詩・宮本 優風 (茨城. 美浦 Jr)

【低学年男子】

1位：濱田 大翔・畠中 湊大 (東京. 高畑・稲城)

2位：渡邊 惺太郎・渡邊 陽斗 (千葉. 浦安)

3位：藤岡 想・白川 蒼大 (茨城. 美浦 Jr・古河STC)

3位：渡部 優月・廣木 陽斗 (茨城. 水戸 Jr)

【低学年女子】

1位：大島 麻桜・山田 姫衣 (埼玉. 大宮・川島 Jr)

2位：合田 有里・齋藤 姪衣 (埼玉. わかくさ・鳩ヶ谷 Jr)

3位：川口 月奈・丸山 和夏 (神奈川. 座間 Jr・川崎STC)

3位：土肥 野琴子・岩崎 由芽 (東京. 千歳・藤の台)

●令和8年度 日本スポーツマスターズ2026 茨城県予選大会

7月12日 磯原地区公園テニスコート

【35歳以上男子】

三橋 渉 (プロテリアル)・堂本 亮 (PRANK)

【45歳以上男子】

楠 智裕・判田 弘志 (翼翼クラブ)

【35以上女子】

工藤 祥江 (MILD)・土地 希美 (筑西クラブ)

【45歳以上女子】

岡部 弘美・渡邊 香頼 (磯原スカイクラブ)

【35歳以上女子と45歳以上男子の混合】

加藤木 かずみ・加藤木 敦 (結城クラブ)

●令和8年度 全日本クラブ選手権大会茨城県予選会

8月2日 磯原地区公園テニスコート

【男子】

- 1 位：筑西クラブ A
2 位：土浦ソフトテニスクラブ A
3 位：高萩ファイターズ A
3 位：T-bonds A

【女子】

- 1 位：夢ひたクラブ A
2 位：T-bonds
3 位：MILD

千葉県

●第32回 関東レディースソフトテニス 千葉県予選大会
6月20日 フクダ電子ヒルスコート

【すみれ・ばら】3ペア

- 1 位：小杉 明衣・大倉 茜 (市原エイティ)

【ゆり】12ペア

- 1 位：崎谷 由加・大矢 順子 (浦安会・明日香)
2 位：鈴木 朋子・山田 久恵 (みどり会・さつき会)
3 位：茂山 美香・篠崎 さゆり (花見川)

【きく】12ペア

- 1 位：松井 累妙子・福山 恵美 (みどり会・あじさい)
2 位：染谷 美樹・浅山 幸 (栗ヶ沢・佐倉)
3 位：木村 恵美子・本多 章子 (八街・佐倉)

【ふじA】12ペア

- 1 位：佐々木 浩世・里見 優美 (さがみ台・栗ヶ沢)
2 位：山崎 鈴子・斎藤 尚世 (稔台・ときわ平)
3 位：中嶋 清美・高山 麻里 (明日香・市原STS)

【ふじB】12ペア

- 1 位：諏訪田 早苗・田中 清美 (野田東部同好会・北柏LTC)
2 位：一藁 道子・田中 和江 (天台)
3 位：斎藤 由美・石坂 幸枝 (栗ヶ沢・流山ママ)

(下諏訪向陽高校)

【高校女子】10ペア

▽決勝

- 宮澤 埜央・松田 亜実 ④-1 片桐 つくし・佐藤 萌空
(下諏訪向陽高校) (伊那西高校)

【一般男子】27ペア

▽準決勝

- 松澤 颯斗・池井 達也 ④-2 丹羽 幸平・永井 敦紀
(伊那・東御) (竜庭会・アート金属)
岸部 尚輝・両角 還 ④-1 栗原 猛・吉田 翔琉
(伊那西高校・佐久) (丸子・安曇野)

▽決勝

- 松澤 颯斗・池井 達也 ④-0 岸部 尚輝・両角 還

【一般女子】9ペア

▽決勝

- 松尾 美咲・野口 未来 ④-2 丸山 彩希・丸山 愛稀
(安曇野・塩尻) (岡谷)

【45男子】11ペア

▽決勝

- 上島 誠・黒河内 武司 ④-2 市川 昌男・矢澤 裕之
(伊那) (伊那・岡谷)

【45女子】21ペア

▽準決勝

- 柳澤 美鈴・片桐 浩子 ④-2 加藤 英子・山口 恵子
(長野・佐久) (飯田)
春日 里美・松尾 晶子 ④-2 宮下 尚美・宮澤 真由美
(伊那・安曇野) (千曲・松本)

▽決勝

- 柳澤 美鈴・片桐 浩子 ④-1 春日 里美・松尾 晶子

【シニア男子55】4ペア

- 1 位：福島 和利・依田 教夫 (松本・長野)

【シニア女子60】3ペア

- 1 位：穂苅 ちなみ・小林 みどり (安曇野・長野)

【シニア男子65】7ペア

▽決勝

- 佐々木 堅了・唐澤 稔 ④-2 小松 雄二・宮澤 和弘
(岡谷) (岡谷)

【シニアミックス140】8ペア

▽決勝

- 小林 和子・永坂 幹夫 ④-3 岩島 富雄・稲村 恵子
(長野) (岡谷・長野)

●第80回 国民スポーツ大会ソフトテニス競技県第2次選考会

6月13日・14日 上田市上田古戦場公園テニスコート(東)(西)

【成年男子シングルス】17名

▽準決勝

- 岩吉 海利 ④-R 金子 凌
(東洋大学) (松本市役所)
津島 青空 ④-2 古幡 悠馬
(msta) (東京経済大学)

▽決勝

- 岩吉 海利 ④-1 津島 青空

【成年女子シングルス】3名

北信越

新潟 長野 富山
石川 福井

長野県

●長野県小学生ソフトテニス団体戦

5月31日 上田市上田古戦場公園テニスコート(西)

【男子】9チーム

▽決勝

- 長野 JSTC・伊那ジュニア ②-1 上田スポ少

【女子】19チーム

▽準決勝

- AZY AAA ②-0 SA 飯島
MNW.Audrey ②-1 あづみ野クラブ

▽決勝

- AZY AAA ②-0 MNW.Audrey

●第67回 長野県ソフトテニス岡谷大会

5月31日 岡谷市市民球場

【高校男子】4ペア

- 1 位：兼田 弦・友野 龍之介

1 位：富山 鈴香 (東京経済大学)

【成年男子ダブルス】41 ペア

▽準決勝

小田切 智明・津島 青空 ④-0 岩吉 海利・高橋 洸貴
(立教大学・msta) (東洋大学・帝京大学)

香山 隼・榛葉 淳之介 ④-3 古幡 悠馬・岡村 勇志
(NP0 さなだSC・松本市役所) (東京経済大学・飯田)

▽決勝

小田切 智明・津島 青空 ④-2 香山 隼・榛葉 淳之介

【成年女子ダブルス】9 ペア

▽決勝

村田 美波・春原 百々羽 ④-2 黒崎 菖子・富山 鈴香
(msta・上田) (松本市役所・東京経済大学)

●第80回 国民スポーツ大会ソフトテニス競技少年男女の部長野県
最終選考会 (ダブルス)

7月4日 塩尻市中央スポーツ公園テニスコート

【少年男子】8 ペア

1 位：布川・飛岡 (長野俊英)

【少年女子】8 ペア

▽決勝

武重・立石 ④-2 田中・宮下
(松商学園) (上伊那農業)

●第44回 長野県小学生ソフトテニス選手権大会兼全国小学生ソフト
テニス大会県予選会

7月5日 松本市オムニコート浅間温泉テニスパーク

【男子】31 ペア

1 位：吉池・林 (丸子・泰阜)

【女子】46 ペア

1 位：真嶋・西澤 (長野)

●第80回 国民スポーツ大会ソフトテニス競技少年男女の部長野県
最終選考会 (シングルス)

7月12日 松本市信州スカイパークアイネットやまびこドーム

【男子】6 名

1 位：竹田 真翔 (長野吉田)

【女子】4 名

1 位：南原 葵衣 (松商学園)

富山県

●第79回 富山県民スポーツ大会3部 (学童の部)

7月4日 岩瀬スポーツ公園テニスコート

【男子ダブルス1部】

1 位：上田 雄大・油瀬 優真 (滑川)

2 位：板倉 輝・佐伯 駿 (射水)

3 位：九澤 洸太・細江 孝輔 (砺波)

3 位：上坂 虎太郎・山本 瑛仁 (氷見)

【高学年男子ダブルス2部】

1 位：梅野 稜大・釣 結登 (射水)

2 位：野村 航太・山岸 陽騎 (庄川・滑川)

3 位：竹森 遥真・松木 啓翔 (黒部)

【4年生以下男子ダブルス】

1 位：岩黒 煌汰・上坂 維央 (高岡)

2 位：桑江 七聖・佃 倅羽 (砺波)

3 位：新川 慶史朗・吉原 正曜 (庄川)

3 位：水口 耕成・松居 裕翔 (城端)

【女子ダブルス1部】

1 位：小堀 紗蘭・寺島 芽生 (砺波)

2 位：加藤 凜音・松田 ひまり (ふれあい)

3 位：吉森 陽・新川 芽依 (庄川)

3 位：寺島 百々・石川 葵 (城端)

【高学年女子ダブルス2部】

1 位：垣内 美音・坂田 六花 (高岡)

2 位：山元 美空・小倉 由起子 (大谷)

3 位：戸出 光梨・二上 栳羽 (高岡)

3 位：宮崎 陽葵・長崎 杏樹 (黒部)

【4年生以下女子ダブルス】

1 位：浅村 皐・池田 万実 (城端)

2 位：堀川 実夢・竹内 友莉花 (射水)

3 位：布見 歩愛・永井 優衣 (城端)

3 位：小倉 万奈・大江 遥月 (高岡)

理事会・専門委員会報告

8月7日(金)

機関誌部会



合宿報告

8月4日(火)～8月10(月)

アジア競技大会日本代表 強化合宿
(北海道札幌市)

8月18日(火)～8月20日(木)

アジア競技大会日本代表 強化合宿
(愛知県豊田市)

※この情報は7月31日現在のもので、8月以降は変更になる場合があります。

日本代表団が正式に TEAM JAPAN の一員に認定

公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）は、9月19日（土）から10月4日（日）まで愛知県・名古屋市を中心に開催される「第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）」について、当連盟から推薦したソフトテニス競技の選手団員につきまして、TEAM JAPANの一員として正式に認定されましたので、お

知らせいたします。

アジア競技大会は、アジア地域最大の総合スポーツ大会であり、2026年大会は日本国内で開催される貴重な機会となります。ソフトテニス競技においても、日本代表選手団がアジアの舞台で活躍できるよう、皆様の温かいご声援をよろしくお願いいたします。



東山公園テニスセンター完成イメージ図



大会マスコットの「ホノホン」

大会期間

令和8（2026）年9月18日（金）～23日（水）

会場

名古屋市東山公園テニスセンター【愛知県名古屋市】

種別

シングルス、ミックスダブルス、国別対抗（団体戦）

大会日程

9月18日（金） 国別対抗予選
 9月19日（土） 総合開会式
 9月20日（日） 国別対抗準決勝及び決勝
 9月21日（月祝） ミックスダブルス
 9月22日（火祝） シングルス予選
 9月23日（水祝） シングルス準決勝及び決勝

ソフトテニス競技日本代表選手団

		氏名	所属
スタッフ	男子監督	篠原 秀典	日本体育大学
	女子監督	佐藤 英宣	トヨタ自動車株式会社
	トレーナー	兼平 智孝	H-FieldSportsPerformanceCenter
	トレーナー	市山 裕梨	スポーツインテリジェンス株式会社
選手	男子	上松 俊貴	NTT西日本
		内本 隆文	NTT西日本
		黒坂 卓矢	日本体育大学
		広岡 宙	NTT西日本
		丸山 海斗	one team
	女子	宮前 希帆	ワタキューセイモア
		岩倉 彩佳	どんぐり北広島
		天間 麗奈	日本体育大学
		中谷 さくら	明治大学
		前田 梨緒	明治大学

（敬称略＊選考会決定者以外は五十音順）

なお、選手団の正式発表は公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）から行われます。

篠原男子代表監督が米山稔賞を受賞

2025年 米山稔賞の受賞者として、日本代表男子チーム篠原秀典監督（日本体育大学）が選出され、6月12日（金）に帝国ホテル東京で開催された表彰式において、表彰状ならびに記念品が授与されました。

同氏の受賞理由は、ソフトテニス日本代表男子チーム監督として、2025年9月韓国聞慶市で開催された「第9回アジアソフトテニス選手権大会」において、国別対抗戦、ダブルス、シングルの3種目で金メダルを獲得し、完全制覇という快挙を達成したことです。

指導者としての情熱と弛まぬ研究心で日本ソフトテニス界の競技力向上と普及・発展に大きく貢献されました。

2025年 米山稔賞受賞者

ソフトテニス競技（指導者）：篠原 秀典（日本体育大学）

車いすテニス競技（選手）：小田 凱人（株式会社 東海理化）



写真左から篠原監督、米山会長、小田氏

夏本番の今こそ**熱中症**に要注意！

暑い夏がやってきました。特に今年は気温が40度を超える酷暑日も設けられたほどです。

こんな時期に怖いのが熱中症。特に屋外でプレーすることが多いソフトテニスでは万全の注意と対策が必要です。こまめに水分補給を行い、陽ざしの強いお昼での活動を避けるなど、十分に注意しましょう。

下記のところは、いずれも熱中症対策に関する情報が豊富なサイトです。「熱中症」で検索してみてください。



陽ざしの強い日中はなるべく屋外コートでの活動を避けよう。また、こまめに水分補給を忘れないように

- JSPO 日本スポーツ協会
- スポーツ安全協会
- 環境省
- 厚生労働省
- こども家庭庁

これからももっと、 私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、

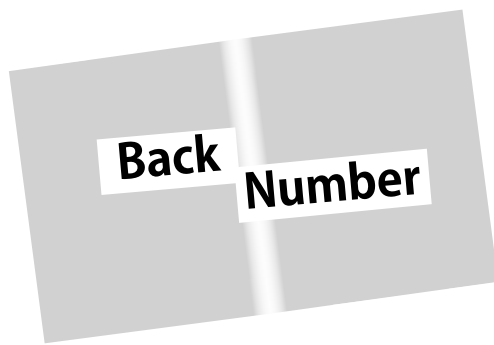
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。



2025年8月号

【表紙写真】

昨年6月中旬に韓国・仁川市で開催された「仁川コリアカップソフトテニス大会2025」。写真は同大会で史上初めて全ての種目で優勝を遂げた日本選手団

【本誌内容】

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 令和7年度 定時評議員会 報告／令和7年度 定時評議員会資料／仁川コリアカップソフトテニス大会2025／令和7年度 西日本シニアソフトテニス選手権大会／第79回 西日本ソフトテニス選手権大会／第80回 東日本ソフトテニス選手権大会／令和6年度 支部功労者・優良団体紹介 Vol.11 愛知県 Vol.12 岐阜県／地区大会・地方大会／支部ニュース／理事会・専門委員会&合宿報告／次号予告／2025年度(令和7年度)大会日程及び開催地一覧



Soft Tennis

2026
9
月号

次号予告

HPは
www.jsta.or.jp

メールアドレスは
info@jsta.or.jp

男子71回 女子70回 全日本実業団選手権大会 全日本高校選手権大会 第57回 全国中学校大会

次号は、男子が71回、女子は70回を迎える「全日本実業団選手権大会」を始め、中高生の「全日本高校選手権大会」と「第57回 全国中学校大会」の結果を掲載する予定です。他にも最新の情報をお届けします。お楽しみに！

広告募集中！

毎月30～80万の
アクセスがある
ホームページです

日本ソフトテニス連盟ホームページ内
機関誌「ソフトテニス」に
広告を掲載してみませんか？

お問い合わせはこちらまで: kikanshi@jsta.or.jp

発行日 2026年8月10日発行

ソフトテニス 第867号(2026年8月号)

発行人 安道 光二

発行所 (公財) 日本ソフトテニス連盟
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 5階

電話 03-6417-1654 FAX 03-6417-1664

編集 澄田公哉事務所

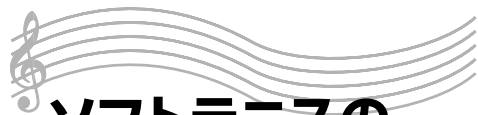
デザイン 明宏デザイン



2026年度(令和8年度) 大会日程及び開催地一覧

2026.7.31 現在

	大会名	日程			開催地
主催大会	第33回 全日本シングルス選手権大会	2026年5月15日	金	～ 2026年5月17日	岐阜県 岐阜市
	第7回 全日本ミックスダブルス選手権大会(一般)	2026年6月6日	土	～ 2026年6月7日	茨城県 北茨城市
	第7回 全日本ミックスダブルス選手権大会(35歳以上)	2026年6月13日	土	～ 2026年6月14日	茨城県 北茨城市、水戸市 日立市
	男子71回 女子70回 全日本実業団選手権大会	2026年7月31日	金	～ 2026年8月2日	宮崎県 宮崎市、都城市
	第54回 全日本社会人選手権大会	2026年8月29日	土	～ 2026年8月30日	大阪府 大阪市
	第1回 全日本中学生クラブ選手権大会	2026年11月21日	土	～ 2026年11月23日	千葉県 白子町
	第33回 JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニア選手権大会	2026年10月24日	土	～ 2026年10月25日	広島県 広島市
	第30回 全日本シニア選手権大会	2026年10月10日	土	～ 2026年10月11日	高知県 高知市、黒潮町
	第4回 STリーグ II	2026年10月23日	金	～ 2026年10月25日	京都府 福知山市
	第33回 全日本クラブ選手権大会	2026年10月24日	土	～ 2026年10月25日	千葉県 白子町
	第81回 天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会	2026年11月6日	金	～ 2026年11月8日	東京都 江東区
	第4回 STリーグ	2026年12月3日	木	～ 2026年12月6日	愛知県 豊田市
	STリーグ プレーオフ	2026年12月18日	金	～ 2026年12月20日	広島県 福山市
	第72回 全日本インドア選手権大会	2027年2月7日			大阪府 大阪市
	第43回 全日本小学生選手権大会	2027年3月25日	木	～ 2027年3月28日	千葉県 千葉市
共催大会	第55回 ハイスchoolジャパンカップ	2026年6月26日	金	～ 2026年6月28日	北海道 札幌市
	西日本シニア選手権大会	2026年6月20日	土	～ 2026年6月21日	香川県 高松市
	第80回 西日本選手権大会	2026年7月4日	土	～ 2026年7月5日	徳島県 徳島市、阿南市
	第81回 東日本選手権大会	2026年7月18日	土	～ 2026年7月19日	山形県 山形市、天童市 酒田市
	全日本高校選手権大会(女子)	2026年7月31日	金	～ 2026年8月3日	京都府 福知山市
	全日本高校選手権大会(男子)	2026年8月4日	火	～ 2026年8月7日	京都府 福知山市
	第53回 全日本レディース大会(個人戦)	2026年9月29日	火	～ 2026年9月30日	京都府 京都市
	第57回 全国中学校大会	2026年8月21日	金	～ 2026年8月23日	島根県 松江市
	第48回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	2026年9月4日	金	～ 2026年9月6日	福島県 会津若松市
	2026 全日本学生選手権大会	2026年9月4日	金	～ 2026年9月9日	熊本県 熊本市
	日本スポーツマスターズ 2026	2026年9月19日	土	～ 2026年9月20日	石川県 金沢市
	第80回 国民スポーツ大会	2026年10月16日	金	～ 2026年10月19日	青森県 青森市
	第6回 全日本レディースシニア決勝大会(団体戦)	2026年10月20日	火	～ 2026年10月22日	大阪府 大阪市
	第21回 ジュニアジャパンカップ (競技者育成プログラム Step4)	2026年11月27日	金	～ 2026年11月30日	宮崎県 宮崎市
	第7回 平和カップひろしま国際大会	2027年3月13日	土	～ 2027年3月14日	広島県 広島市
	第38回 都道府県対抗全日本中学生大会	2027年3月25日	木	～ 2027年3月27日	三重県 伊勢市
	第52回 全日本高校選抜大会	2027年3月28日	日	～ 2027年3月30日	愛知県 名古屋市
その他	第38回 ねんりんピック 2026	2026年11月7日	土	～ 2026年11月10日	埼玉県 熊谷市
	第34回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	2026年8月23日	日	～ 2026年8月29日	佐賀県 佐賀市
	第20回 アジア競技大会	2026年9月18日	金	～ 2026年9月23日	愛知県 名古屋市



ソフトテニスの テーマソング

Winning Shot ～ウィニング ショット～ を広めよう！

ソフトテニス創始 120 周年および連盟創立 80 周年と
なった 2004 年、「ソフトテニスの歌」が発表され、CD
化も実現しました。タイトルは「Winning Shot ～ウィ
ニングショット～」。全国各地の大会会場で聴きたい、爽
やかで希望に満ちた歌です。

作詞・作曲者／Twune 編曲／audio-Librar

青い空に向けて 白いボールがはずんでる 光の中で
いつもどんな時も テニスコートに立つかぎり 胸が踊るよ

きのうのどなくやささも 今日戦う勇気に変えよう……！

Ah 勝利をつかむまで
あきらめたくない For My Dream！
さあ！ 風を切って走れ
打ち返すんだ ウィニングショット！

うまくいなくても 前を向いた心なら 悔まないのさ
きっと強くなって 振り抜くラケットに 熱い願いを込めろ

光る汗を流し続けて 明日の夢の扉開け……！

Ah いつも心に太陽
ゆずりたくはない For My Heart！
さあ！ 信じるまま進め
希望に満ちた ウィニングショット！

Ah 翼をひろげよう
世界に羽ばたけ Soft Tennis！
Ah 今ここにある夢
未来を行け！ ウィニングショット！

著作／財日本ソフトテニス連盟 製作／しゅくみねっと株式会社



Vocals

Winning Shot

～ウィニング ショット～

作詞・作曲／Twune
編曲／audio-Library

♩ = 144

Intro

[A]

1. あおい そらに むけて も しろ い ボー ル が は ず ん で る
2. うまう い かな く て も まえ を む い た こ こ ろ な ら

ひ か り の な い か で さ
く や ま な い の で さ

い つ も ど ん な と き も テ ニ ス コー ト に た つ か ぎ り
き っ と つ よ く な っ て も ふ り ぬ こ ラ ケ ッ ト に に あ つ い

む ね が お ど る よ り
ね が い を こ め る き ひ

[B]

二 の う の ど ん な く や し さ も て
か る あ せ を な が し つ げ

き ょ う た た か う ゆ う き に か え る う... !
あ す の ゆ め と び ら ひ

[C]

Ah し ょ う り も こ こ ろ に ま い で ょ う
Ah い つ も

あ き ら め た く は な い For My Dream!
ゆ ず り た く は な い For My Heart!

さ あ! か ぜ を き っ て は し れ
さ あ! し ん じ る ま ま ず れ め

う ち か え ず ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う に み た ウィ ニング ショット!

[D]

Ah つ ば さ を ひ ろ げ よ
Ah

せ か い に は ば た け Soft Ten nis!
Ah

い ま こ こ に あ る ゆ め
Ah

み ら い を ゆ け! ウィ ニング ショット!
Ah

Ending

10

環境を守る スポーツを守る 未来を守る

TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに！



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee